

CHOFU

本体取扱説明書

保証書付

強制追焚付石油給湯器(直圧式)

エコフィール

型名

〔石油給湯機付ふろがま〕

EHK-4771DXE

EHK-4771DXF

EHK-4771DAF

EHK-4771DSA

EHK-4771DKXF

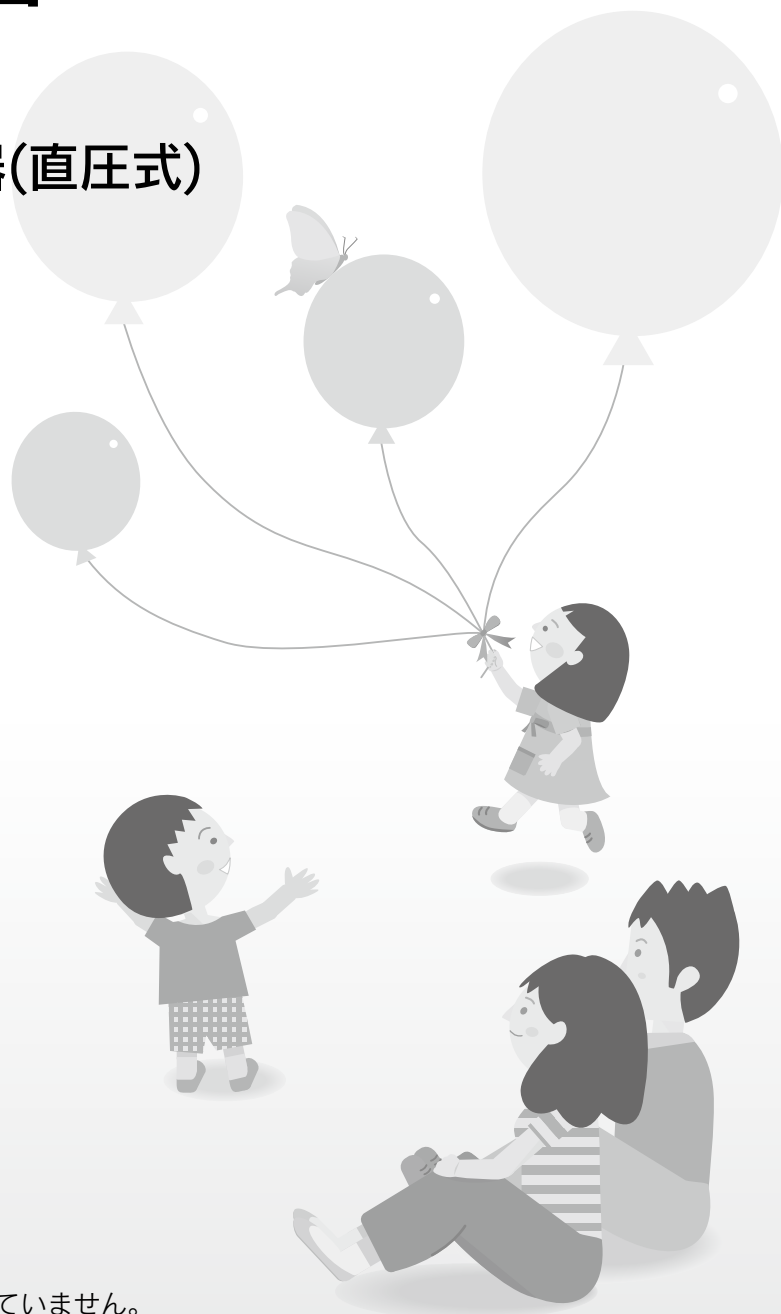
EHK-4771DKAF

EHKF-4771DSX

EHKF-4771DA

EHKF-4771DKX

EHKF-3971DA



ご使用前のお願い

- 本書にはリモコンの操作説明は記載されていません。
リモコンに付属している「取扱説明書」と併せてお読みください。

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』（製品に添付）を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

10258880 (DU)

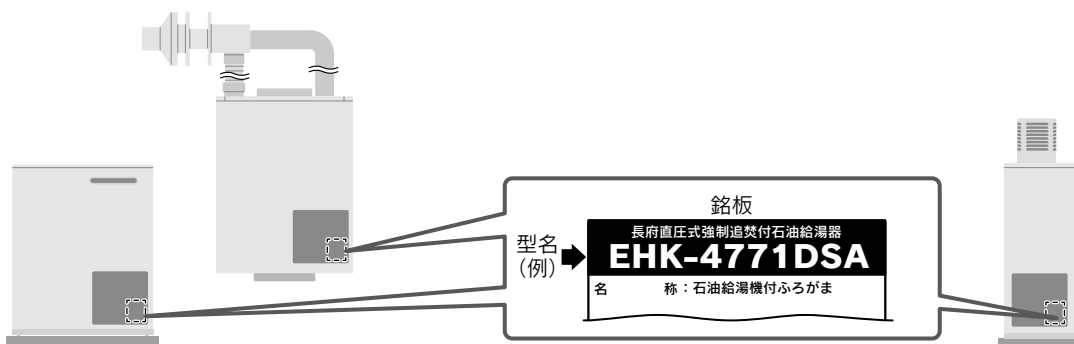
取扱説明書をお読みになる前に

機器の排気タイプ・設置方式・機能タイプおよび、リモコンのタイプを確認してください。

本書では必要な項目で機器の排気タイプ・設置方式・機能タイプおよび、リモコンのタイプを記載して説明しています。

□(太枠)内に英数字や✓(チェックマーク)を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。

1 機器前パネルの銘板に表示している型名を確認してください。



2 型名から以下の表で排気タイプ・設置方式・機能タイプを確認してください。

型名：EHK ☐ - ☐ 71D ☐

英字
F
(または
なし)

数字

英字

設置方式

Kが入っている	☐ 壁掛型
Kが入っていない	☐ 床置型

機能タイプ

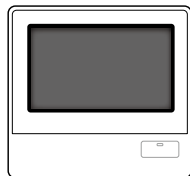
Xが入っている	☐ フルオート
Aが入っている	☐ オート

排気タイプ

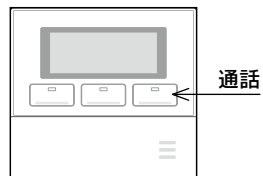
Fが入っている	Fが入っている	Fが入っていないときは排気筒の形状を確認する	
☐ 前面排気タイプ	☐ 強制給排気タイプ	☐ 強制排気タイプ	☐ 無煙突タイプ
排気部 ※イラストは床置型です。	給排気筒 ※イラストは床置型です。	排気筒の先にエルボトップがついている 屋内設置の場合は排気筒が屋外に出ています。 排気筒 エルボトップ	拡散排気筒がついている 拡散排気筒

3 ご自宅の台所リモコンでリモコンのタイプを確認してください。

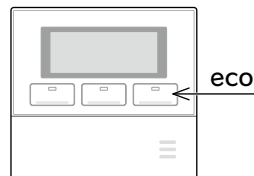
☐ タッチパネルリモコン



☐ インターホンリモコン



☐ 音声リモコン



インターホンリモコンと音声リモコンはリモコンの形状が同じなので、矢印のスイッチの名称で判断してください。

イラストはイメージです。

取扱説明書をお読みになる前に

も	く	じ	ページ
ご使用の前に		取扱説明書をお読みになる前に	2
		特に注意していただきたいこと	6
		各部の名称	
		(外観図)	16
		ご使用前の準備と確認	
		(燃料)	20
		(給油)	20
		(油切れ予告装置(別売部品)について)	21
		(点火前の準備と確認)	22
必要なときに		冬期の凍結による破損防止について	
		(凍結予防)	24
		(水抜き後の再使用のとき)	28
		(凍結したとき)	32
		(強制ふる凍結予防運転)	33
		石灰分が多い水質(硬水)の地域では	39
		長期間使用しない場合	39
		日常の点検・手入れ	
		(点検・手入れの必要事項、時期、方法)	40
		定期点検	44
		法定点検	44
		故障かな?と思ったら	
		(修理を依頼する前に)	45
		(安全装置)	49
		(その他の装置)	49
		(エラーコード)	50
		部品交換について	56
		仕 様	57
		据付け	64
		試運転	64
		保証書	巻末
		アフターサービス	裏表紙

「リモコンの操作方法と機能設定」はリモコンに付属している
取扱説明書で説明しています。

困ったときは？

地震や火災が起きた！

▶ 9ページ

凍結を予防したい

▶ 24～27・33～38ページ

お手入れはどうしたらいいの？

▶ 40～43ページ



給湯器の動きがいつもと違う

▶ 45～49ページ

リモコンにエラーコードを表示している！

▶ 50～55ページ

特に注意していただきたいこと

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

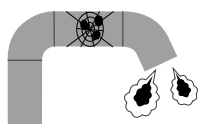
●排気筒・給排気筒はずれ危険 (屋内設置の場合 2ページ)

排気筒や給排気筒(管、ホース)がはずれたままで使用しないでください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●排気筒閉そく危険 (強制排気タイプの場合 2ページ)

排気筒がつまったり、ふさがれたりしたままで使用しないでください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



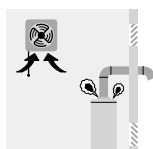
●給排気筒トップ閉そく危険 (強制給排気タイプの場合 2ページ)

給排気筒トップの周りが雪や氷柱(つらら)でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
酸欠事故・火災・過熱の原因になります。

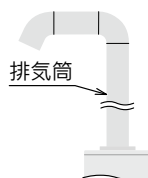


●換気扇の同時使用禁止 (強制排気タイプの場合 2ページ)

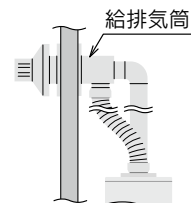
機器を設置した室内に換気扇が設置されている場合、燃焼中に換気扇を使用すると、排ガスが逆流して火災や事故の原因になります。給気口が設置されていてもリモコンの運転スイッチが「入」のときは、換気扇を使用しないでください。



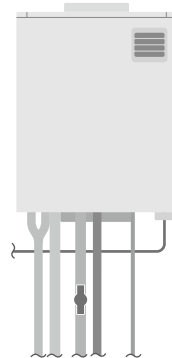
強制排気タイプ



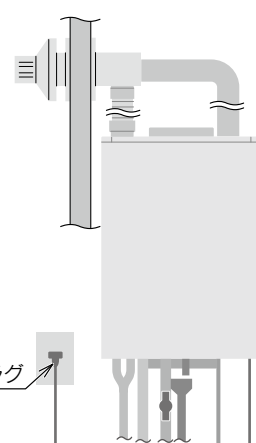
強制給排気タイプ



壁掛型 (前面排気タイプ)



壁掛型 (強制給排気タイプ)



電源プラグ

電源コード

油タンク

●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
---	----------------------	---	------------------------

	ガソリン厳禁		濡れ手禁止		分解禁止		接触禁止		一般的な警告・注意
	高温注意		感電注意		アースを接続する		電源プラグを抜く		

●文中の(○ページ)の数字は参照ページを表します。

警告

高温注意

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる



●ふろ自動中や追いだき中は、循環口に近づかない

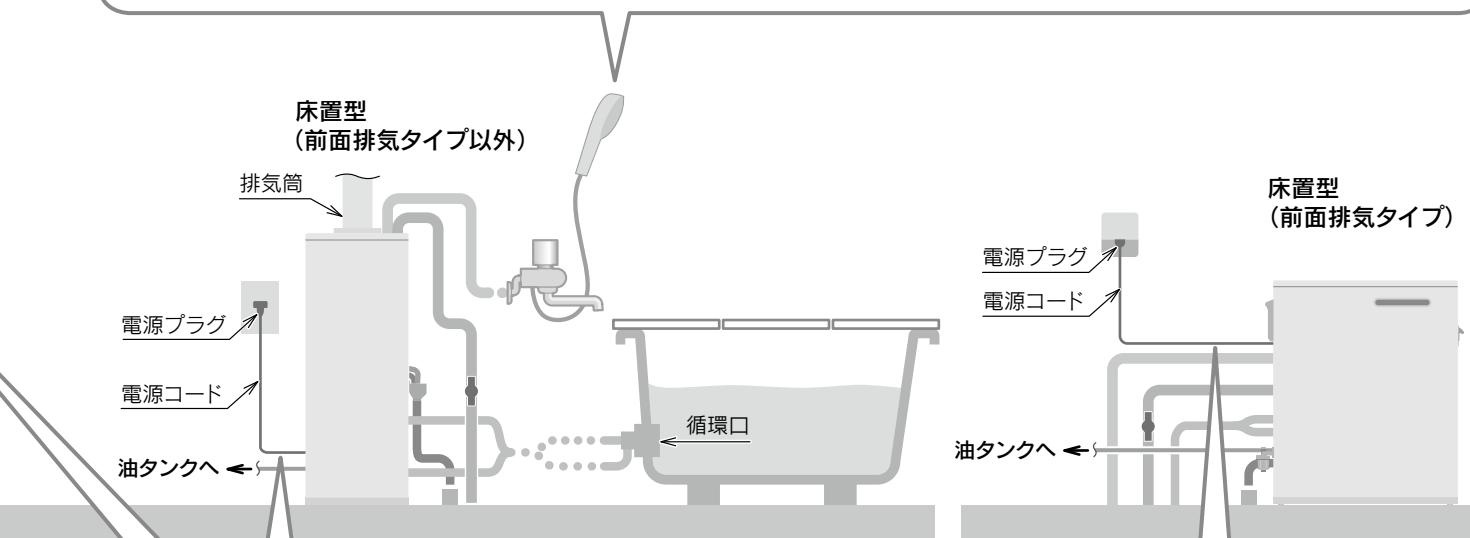
循環口から熱いお湯が出るので注意してください。やけどのおそれがあります。



●お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



●電源コードは切断して延長しない

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。

絶対に電源コードを切断して延長しないでください。

火災・感電・発熱の原因になります。



特に注意していただきたいこと

警告

●改造・分解禁止

絶対に改造や分解は行わないでください。
改造や分解は機器の安全性を損ない、火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因になります。



子どもに注意する

思わぬ事故の原因になります。



●子どもをお風呂にもぐらせない

●子どもを浴室で遊ばせない

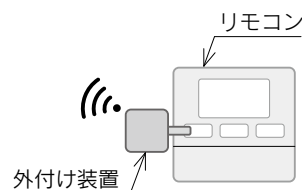
●子どもだけで入浴させない



●外付け装置(※)による遠隔操作厳禁

機器本体およびリモコンのスイッチの操作を、外付け装置を使用して行くと、思わぬ事故の原因になることがあるため使用しないでください。

※外付け装置とは、スイッチ付近に設置し、インターネット通信などを利用して機械的にスイッチを入/切できる装置のことです。



注意

異常・故障時使用禁止

使用を続けると事故の原因になります。



1. 以下の場合にはすぐに使用を中止する

- ・ 点火しない、機器が使用中で失火した
- ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
- ・ 多くのススが出る
- ・ 油が漏れている
- ・ お風呂に関する動作中以外でお風呂の水位が上昇する

2. 「故障かな?と思ったら」を参照して処置を行う [45～55ページ](#)

3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する

●ゴム製送油管の点検・交換をする (強制排気タイプ・強制給排気タイプの場合) [2ページ](#)



屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。

ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

●ゴム製送油管の屋外使用禁止

屋外では必ず金属管(銅管など)を使用し、ゴム製送油管は絶対に使用しないでください。
ひび割れを生じて油漏れの原因になります。



⚠ 注意

地震や火災などの緊急時の 処置



1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く
凍結のおそれがあるときは、電源プラグを抜かないでください。(凍結による故障拡大を防ぐため)
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する

空だきに注意

火災の原因になります。



- おふろにお湯(水)が入っていることを確認する
追いだし運転やたし湯運転、保温運転をするときは循環口上部から約5cm以上給水してください。

● 家庭用以外の使用禁止

この機器は家庭用です。
家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



高温部接触禁止

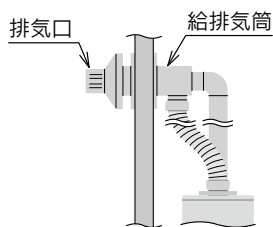


- 燃焼中や消火直後は高温部(機器・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部)に手など触れない
やけどの原因になります。

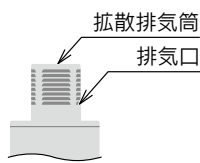
強制排気タイプ



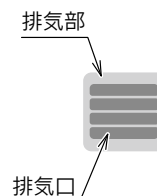
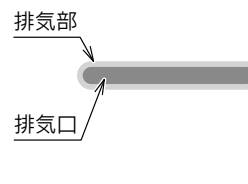
強制給排気タイプ



無煙突タイプ



前面排気タイプ



床置型
(前面排気タイプ以外)

給気部(側面)

16・17 ページ

床置型
(前面排気タイプ)

給気部(後面)

17 ページ

給水元栓
給水元栓

イラストは強制排気タイプです。

壁掛型
(強制給排気タイプ)

給気部
(全周)

壁掛型
(前面排気タイプ)

給気部(後面)

18 ページ

給水元栓

給水元栓

- 給気部や排気口に指や棒を入れない
けがや事故の原因になります。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

●もらい錆に関する注意

機器の周囲で発生した錆が機器外装に付着し、錆びる(もらい錆をする)ことがあります。



●おふろのふたに乗ったり、手をついたりしない

ふたがはずれておぼれたり、やけどをしたりするなど思わぬ事故の原因になります。

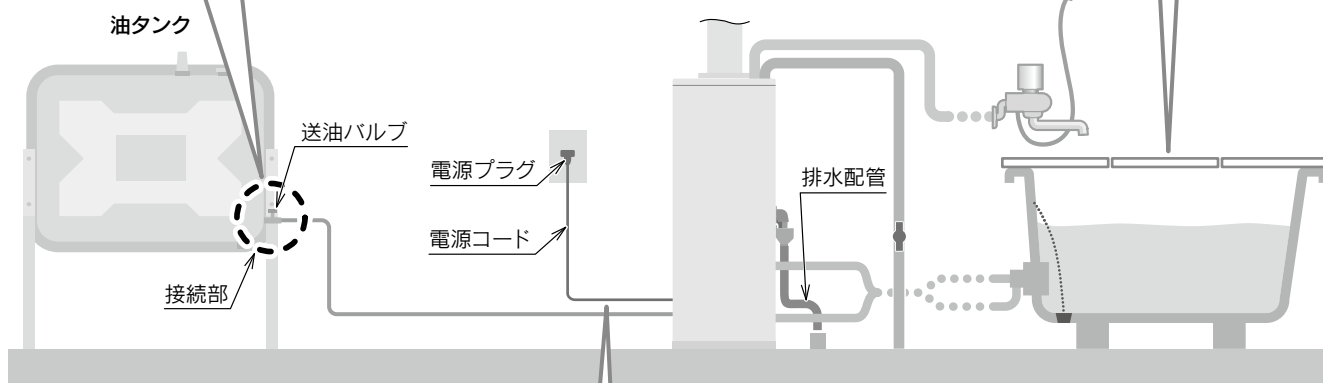


●油漏れに注意する

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。火災の原因になります。



床置型
(前面排気タイプ以外)



●排水配管から排出される水を飲用・飼育用などに使用しない

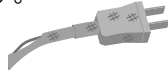
健康を害するおそれがあります。



電源コード、電源プラグ、アースについて

●傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使用しない

火災・感電・発熱の原因になります。



●傷つけたり、破損させたりしない

火災・感電・発熱の原因になります。



●電源コードを束ねたままで使用しない

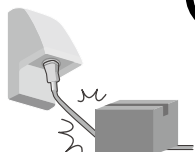
火災や発熱の原因になります。



●無理な力を加えない

- ・無理に曲げない
- ・物を載せない
- ・引っ張らない
- ・衝撃を与えない

火災や感電の原因になります。



●電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

火災・感電・発熱の原因になります。



●電源プラグを濡れた手で触らない

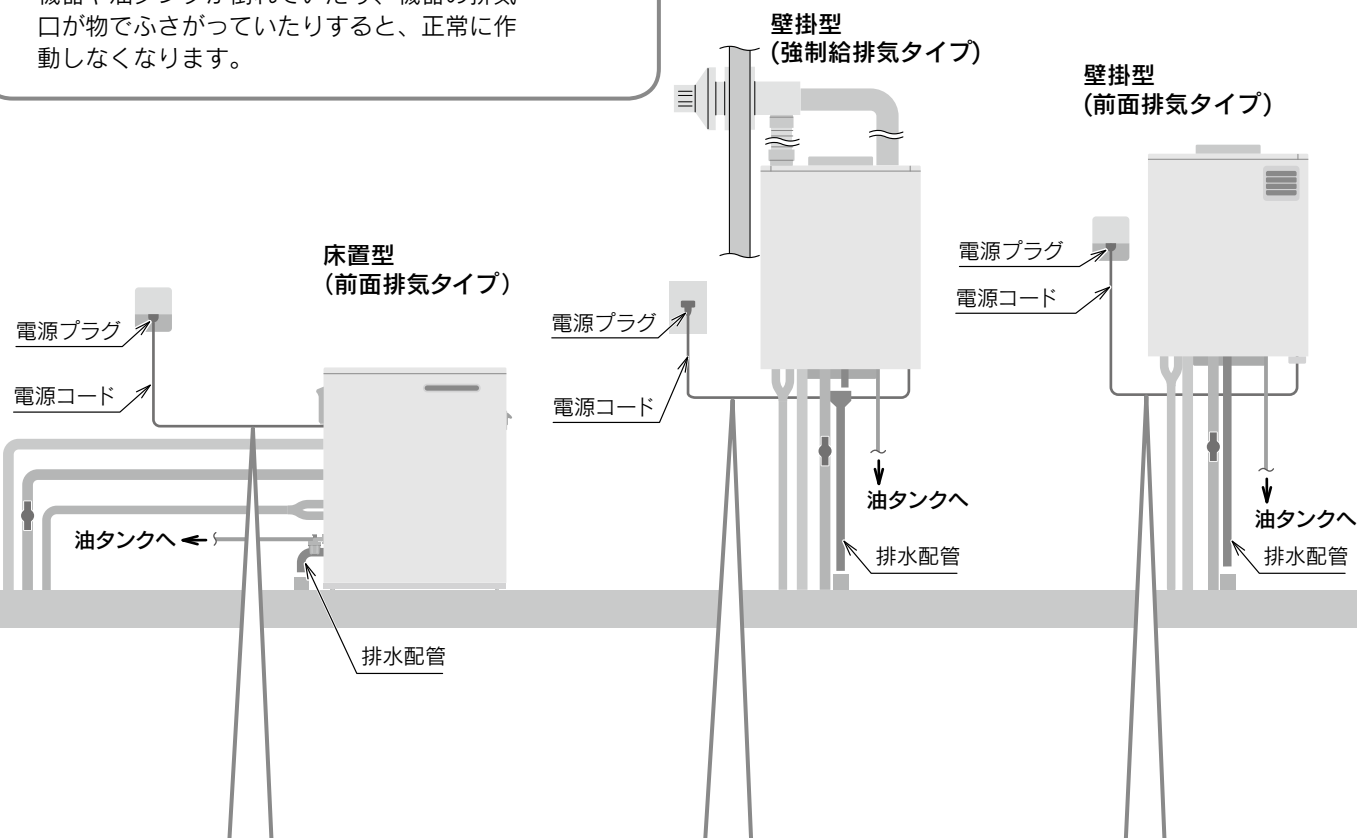
雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



⚠ 注意

●台風通過後の注意

屋外に設置している機器や油タンクは、状態を確認してから使用してください。
機器や油タンクが倒れていたり、機器の排気口が物でふさがっていたりすると、正常に作動しくなります。



使用前に

必要ときに

●電源プラグのほこりは定期的にふきとる

リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。
ほこりを乾いた布でふいてください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



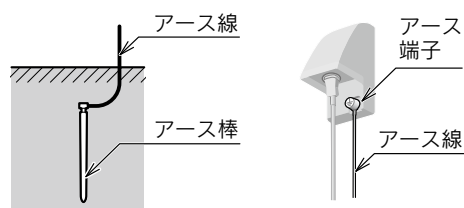
●電源プラグは確実に差し込む

火災・感電・発熱の原因になります。



●アースを確認する

この機器はアースが必要です。
アースが接続されていない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
感電の原因になります。



※バックアップ電源ユニットと接続した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にした後、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてから、給湯器の電源プラグおよびバックアップ電源ユニットの電源プラグを抜いてください。
ほこりを乾いた布でふいてください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。 **バックアップ電源ユニット取扱説明書参照**

特に注意していただきたいこと

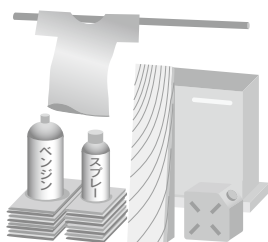
⚠ 注意

可燃物禁止

- 機器の上や周囲に燃えやすい物を置かない
新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。
火災の原因になります。



- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない
爆発や火災の原因になります。
引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶内の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。

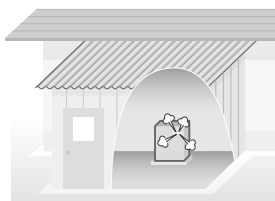


囲い禁止(屋外設置の場合)

不完全燃焼や火災の原因になります。



- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない
- 機器全体や排気部または拡散排気筒などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない
- 外壁工事などで機器全体や排気部または拡散排気筒が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



イラストは前面排気タイプです。

使用上の注意

- 給湯・シャワー・追いだき以外には使用しない
思わぬ事故の原因になります。



- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意する
使用直後は熱湯が排水されることがありますので、やけどのおそれがあります。
機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。



- 純正部品を使用する
当社純正部品を使用しないと事故や故障の原因になります。



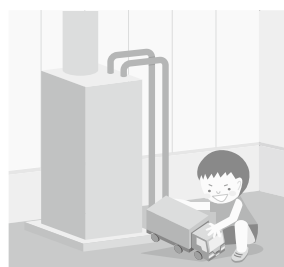
- 機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する
お客様ご自身で行うと、火災・感電・事故の原因になります。



- 長期間使用しないとき
「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」を参照して水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。
26・27ページ
火災や思わぬ事故の原因になります。



- 子どもを機器の周囲や直下で遊ばせない
思わぬ事故の原因になります。



お願い

停電時の注意

●停電したときは給湯栓を閉める

停電すると運転が停止します。
停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
現在時刻を表示していない場合は、現在時刻の設定を行ってください。**リモコン取扱説明書参照**

●冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参照して凍結予防の処置を行ってください。**25～27ページ**
ただし、「機器内の水を抜く方法」を行う場合は停電中のためリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。

断水時の注意

●断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。

●断水復帰直後のお湯(水)は飲用や調理に使用しない

飲用や調理に適さないお湯(水)が配管にとどまることがありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分にお湯(水)を流してから使用してください。

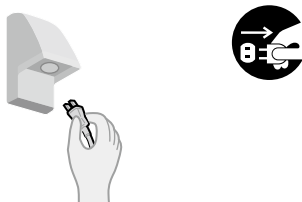
●断水時は追いだきやふろ保温をしない

お風呂のお湯(水)が循環口上部から約5cm以上ある場合でも、追いだきやふろ保温をしないでください。故障の原因になります。

雷発生時の注意

●雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷するおそれがあります。



●雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

濡れた手で電源プラグを触らないでください。感電の原因になります。



以下の場合取扱説明書を参照して処置を行う

●リモコンにエラーコードを表示したとき

50～55ページ

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災や事故の原因になります。

●凍結のおそれがあるとき

24～27・33～38ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

積雪時の注意

●点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。
雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



特に注意していただきたいこと

お願い

使用上の注意

●機器の近くに電気器具を置かない

テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ったりすることがあります。

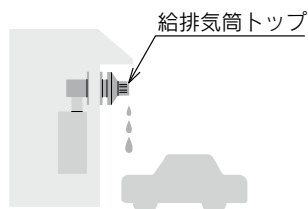
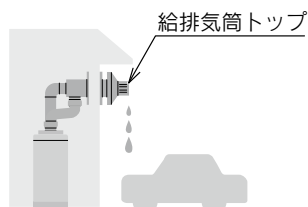
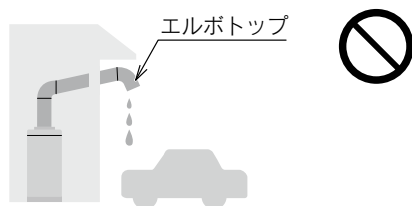
●点検・整備のためのサービススペースを確保する

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。

工事説明書参照

●エルボトップや給排気筒トップの下に物を置かない

エルボトップや給排気筒トップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。
下に物などを置かないでください。



●水道水を使用する

地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

●リモコンの運転スイッチが「切」のときは給湯栓を開けない

リモコンの運転スイッチが「切」のときに給湯栓を開けて大量の水やシャワーを使用すると、機器内の通水部が結露して機器の寿命を縮めます。

●高地で使用するときはご相談ください

下記の高地で使用するときは、お買い求めの販売店にご相談ください。燃焼不良の原因になります。

EHK-4771DXE EHKF-4771DSX EHKF-4771DA EHKF-4771DKX EHKF-3971DA	標高1,000～1,500m 標高1,500mを超える場所では使用できません。
EHK-4771DSA	標高1,000～1,300m 標高1,300mを超える場所では使用できません。
EHK-4771DXF EHK-4771DAF EHK-4771DKXF EHK-4771DKAF	標高800～1,300m 標高1,300mを超える場所では使用できません。

●冬期の入浴について

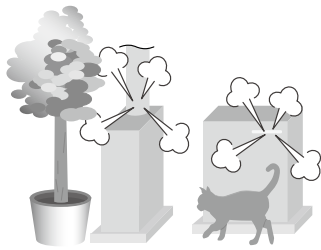
冬期など浴室や脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)により、特に高齢のかたは入浴事故につながるおそれがあります。

入浴前に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めてください。浴室で利用できる暖房機器がない場合でも、お風呂にふたをしないでお湯はりをしたり、シャワーでお湯を流したりして浴室を暖めることができます。

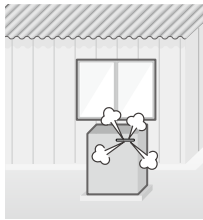
お願い

排ガスについて

- 植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受ける物を周囲に置かない

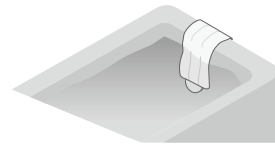


- 排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない
変色・破損・腐食の原因になります。



浴そうに関する注意

- 循環口を手・足・タオルなどでふさがない
故障の原因になります。



- 循環口フィルタが緩んだり、はずれたままで使用しない

髪の毛が吸い込まれるなど事故・故障・けがの原因になります。

特に小さなお子様には注意してください。

機器内のお湯(水)について

- 機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない

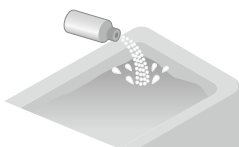
雑用水として使用してください。

水質の変化により健康を害する原因になります。

入浴剤や洗剤の使用について

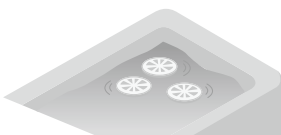
- 入浴剤や洗剤に注意する

温泉水・イオウ・酸・アルカリ・油分を含んだ入浴剤や洗剤は、機器や配管の腐食などの原因になります。また、水質の変化により機器内や配管を腐食させる原因になりますので使用しないでください。



- 浴そう内ではミカンやレモンなどを浮かべたり、石けんやボディシャンプーを使用したりしない

次回使用時に泡が出て、故障の原因になります。ポプリなどを使用する場合は、袋などに入れて使用してください。



混合水栓について

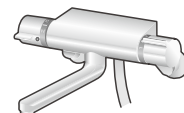
- 通水抵抗が少ない物、シャワーヘッドの圧力損失が少ない物を使用する

通水抵抗や圧力損失が大きいと、出湯量減少の原因になります。

- 水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

- やけど防止のため、サーモスタット付混合水栓の使用を推奨

2ハンドル混合水栓やシングルレバー混合水栓を使用しているときは、熱いお湯が出て、やけどの原因になります。



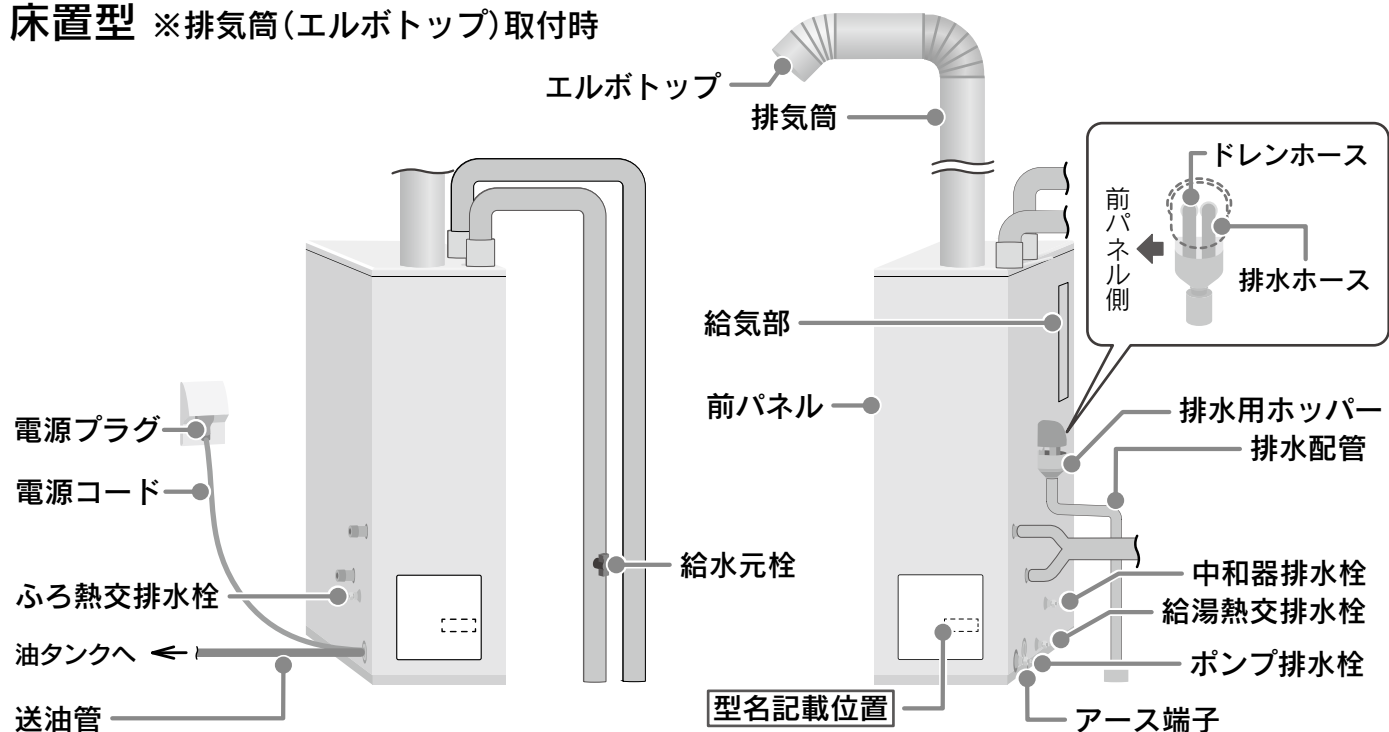
各部の名称

外観図

※排気タイプについては、**2ページ**に記載しています。
イラストはイメージです。

強制排気タイプ(屋内外設置)

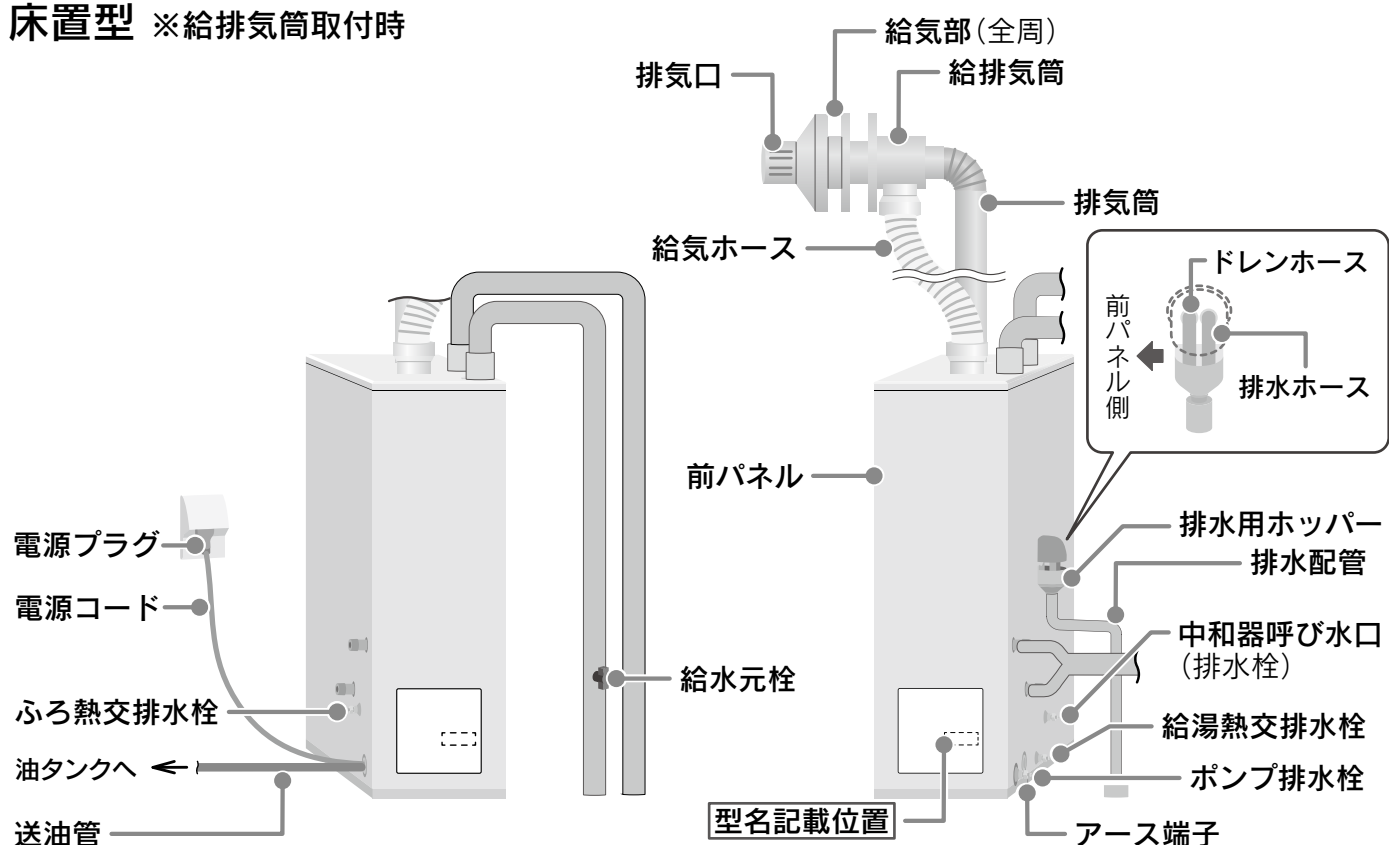
床置型 ※排気筒(エルボトップ)取付時



※イラストはEHK-4771DXEです。

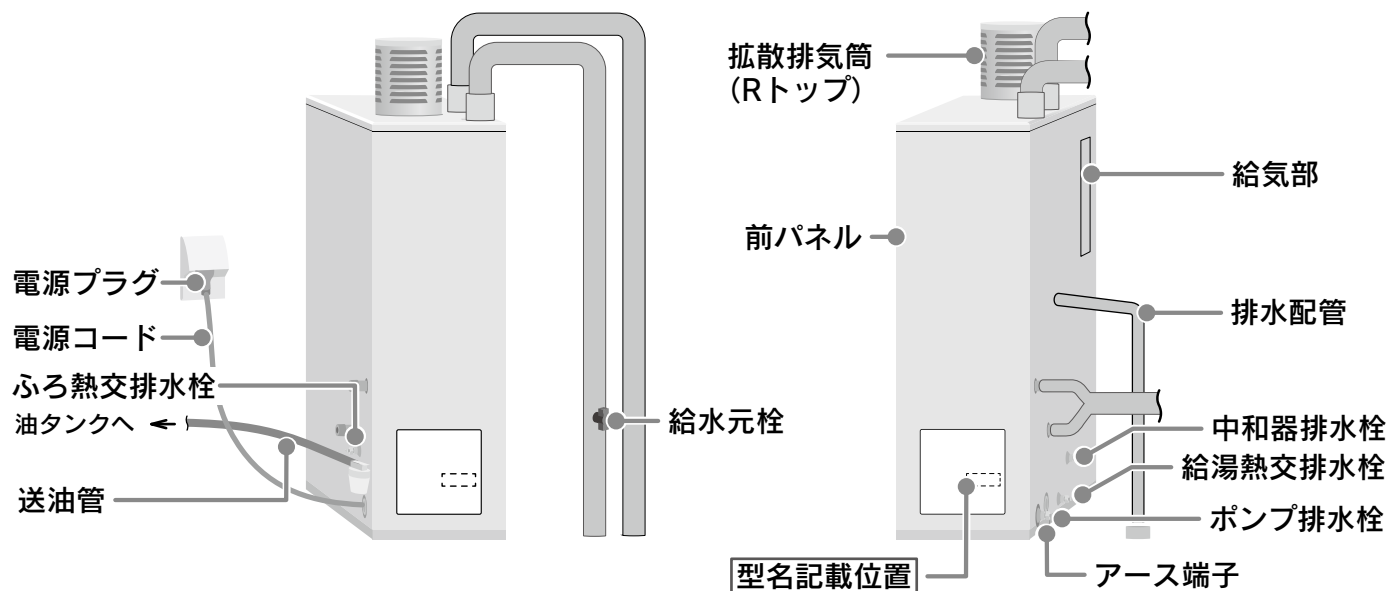
強制給排気タイプ(屋内設置)

床置型 ※給排気筒取付時



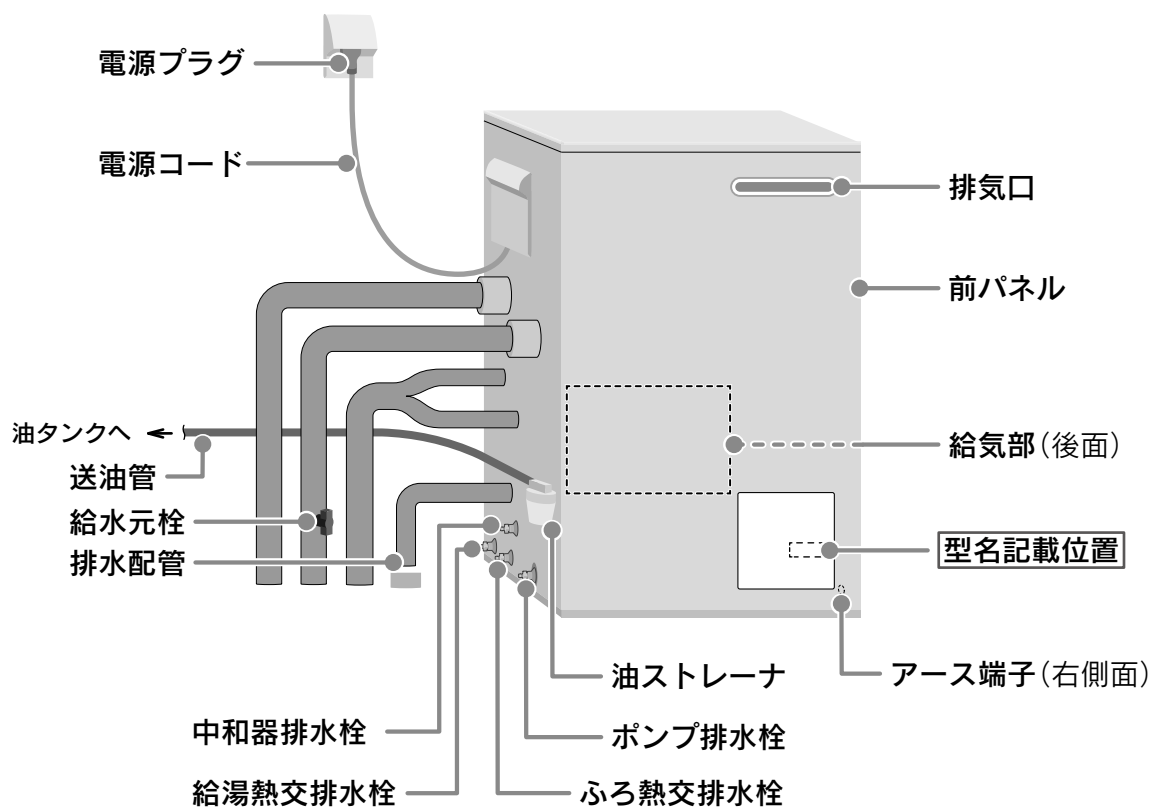
無煙突タイプ(屋外設置)

床置型 ※拡散排気筒(Rトップ)取付時



前面排気タイプ(屋外設置)

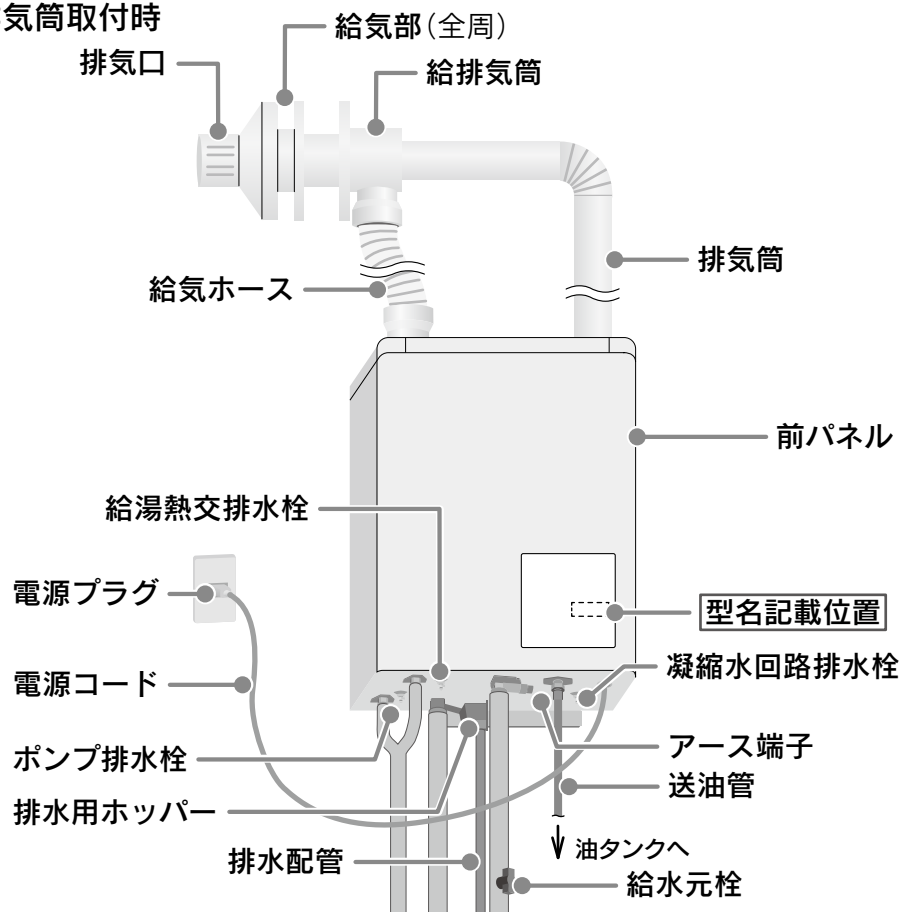
床置型



各部の名称

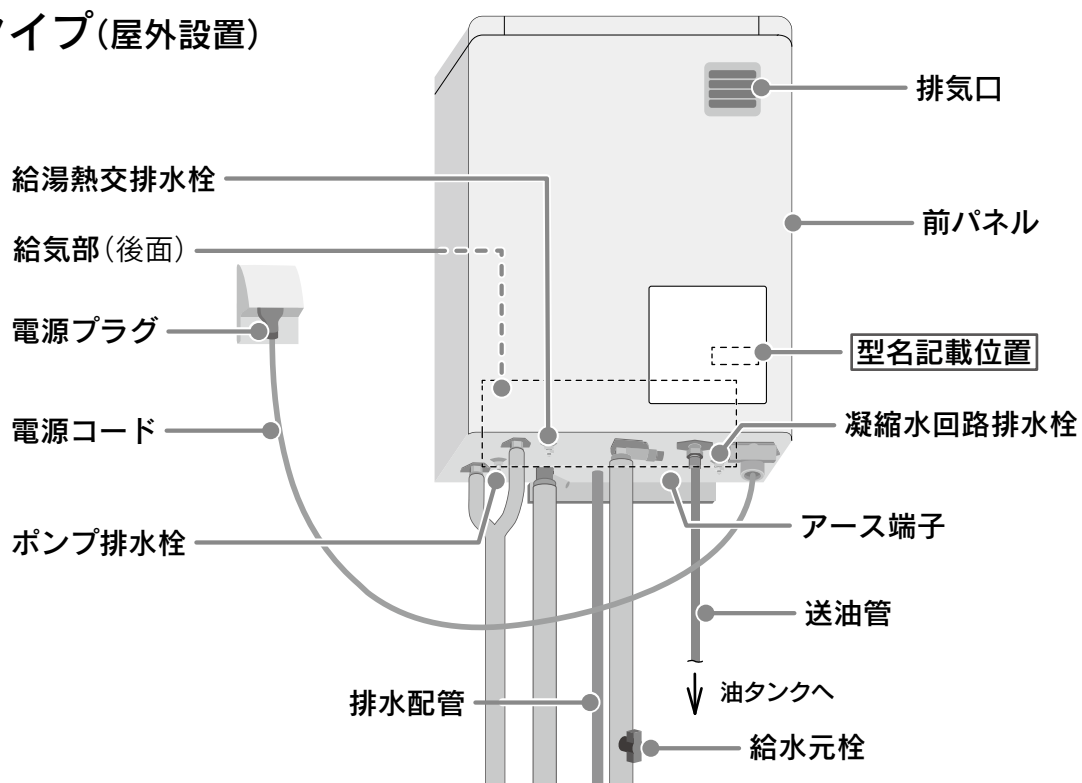
強制給排気タイプ(屋内設置)

壁掛型 ※給排気筒取付時



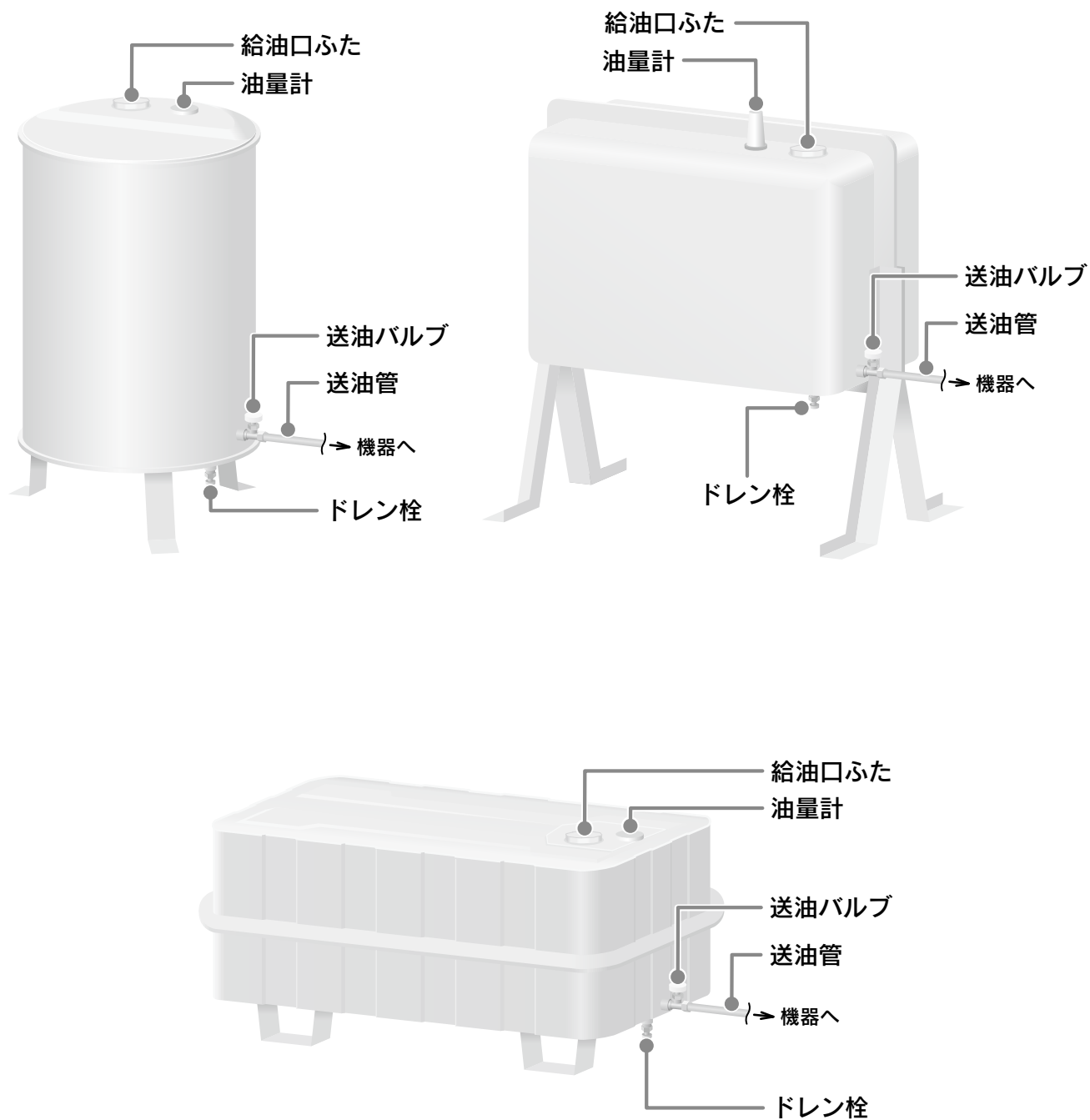
前面排気タイプ(屋外設置)

壁掛型



油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクにより異なります。)



ご使用前の準備と確認

燃料

⚠ 警告

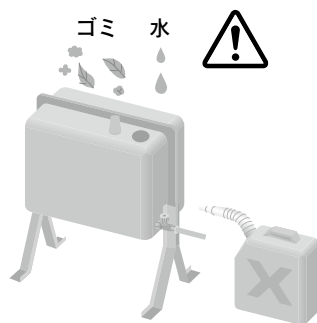
- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他の物が混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないよう特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

⚠ 注意

- 頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下により多くのススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。

- 燃料切れを起こさないように、こまめに灯油の残量を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油できないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

- 燃料切れをしたときは、リモコンに「111」「112」または「121」「122」のエラーコードを表示します。 **50～53ページ**
給油後にリセットをして給湯栓を開けると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。

(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「111」「112」または「121」「122」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセットをして給湯栓を開ける操作を行ってください。)

- リセットをして給湯栓を開ける操作を2～3回行っても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
リセットをして給湯栓を開ける操作を約5回繰り返すと、リモコンに「130」のエラーコードを表示してお客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

■リセットの方法

リモコンの運転スイッチを「切」にしてから、再度「入」にします。

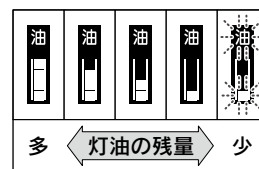
油切れ予告装置(別売部品)について

- 油切れ予告装置を取り付けると台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 油切れ予告装置は「OC-5」と「OC-31」の2種類あります。
- 油タンクに複数の機器を接続している場合でも使用できます。

OC-5を取り付けたとき

- 台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示します。
- 灯油の残量が少なくなると油面計の1段目が点滅するとともに、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
- 設定方法は油切れ予告装置に付属の説明書をご覧ください。

例 音声リモコン



OC-31を取り付けたとき

- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。(油面計は表示しません。)
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

例 音声リモコン



ご使用前の準備と確認

点火前の準備と確認

1 機器および周囲を確認する

機器・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部・油タンクの上や周囲に引火性危険物や燃えやすい物、排ガスによって悪影響を受ける物を置かないください。**12・15ページ**

排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。**40・41ページ**

2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れしていないことを確認してください。

5 電源プラグを差し込む

この機器はAC100V専用です。AC200Vに接続すると機器が破損します。

6 排気筒・給排気筒・拡散排気筒を確認する

排気筒・給排気筒・拡散排気筒の接続部に緩みやはずれがないことを確認してください。

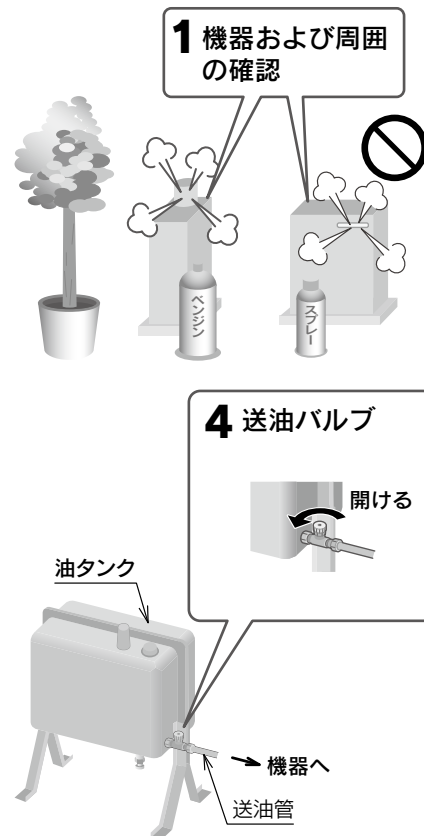
緩みやはずれがあるときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

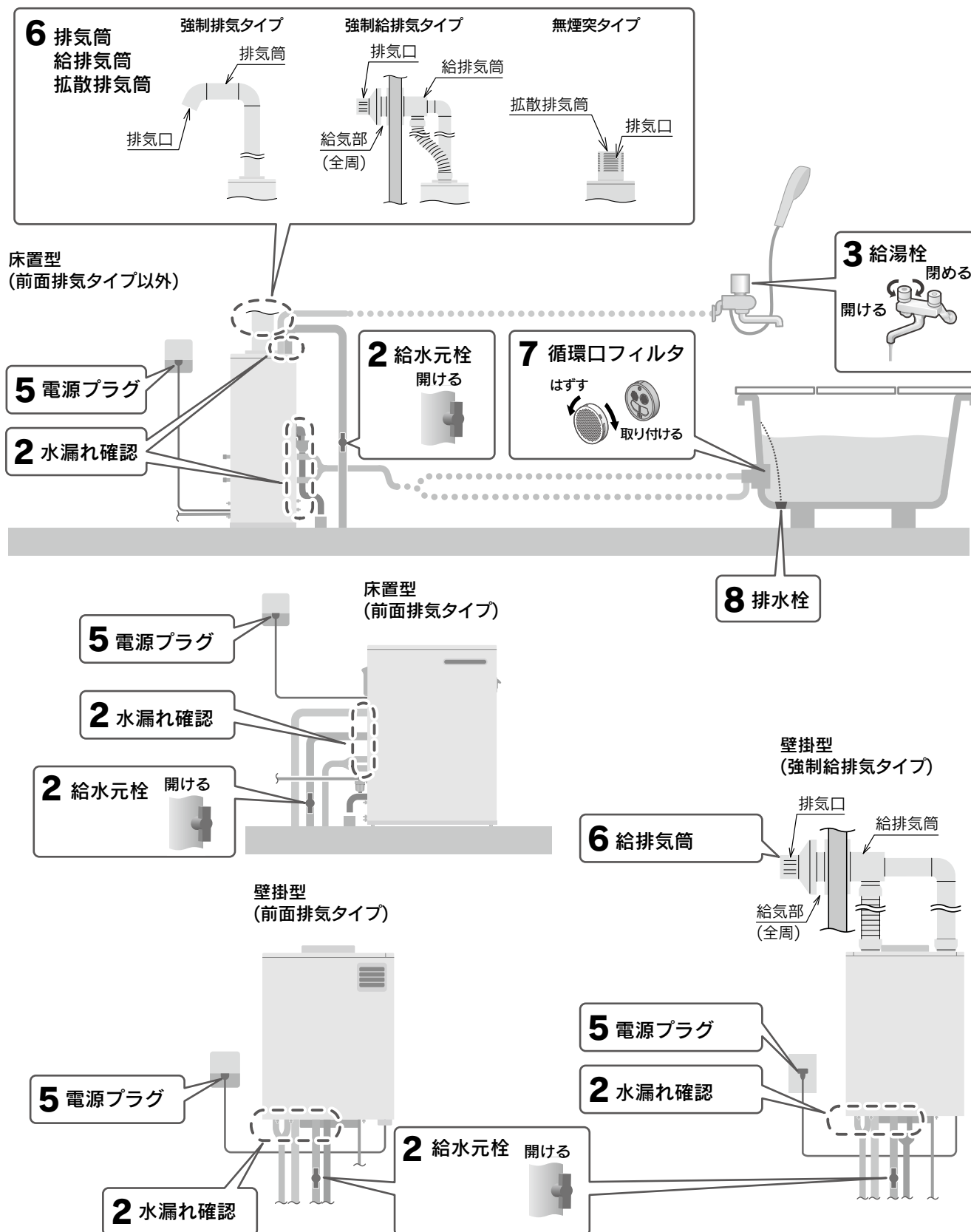
7 循環口フィルタを確認する

お風呂に循環口フィルタが取り付けられていることを確認してください。

8 設置後はじめて使用するときはお風呂が空の状態でお風呂自動を行う

お風呂の排水栓が閉まっていることを確認してください。





冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)
- ふろ配管も凍結を予防するために、必ず保温してください。
- バックアップ電源ユニットを接続して、バックアップ運転を行っているときは凍結予防装置が作動しません。
凍結のおそれがあるときは、使用後に「じゃ口から水を流す方法」か「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

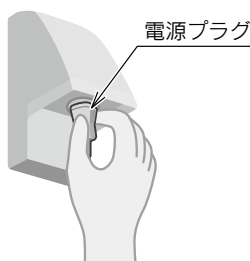
凍結予防

凍結予防には「凍結予防装置による方法(自動)」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

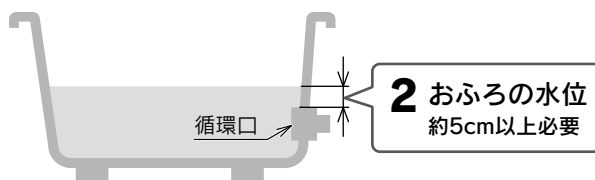
凍結予防装置による方法(自動)

外気温が下がると自動的に凍結予防ヒータに通電し、機器内の給水経路を保温します。
また、おふろの水を循環させてふろ配管の凍結を予防します。

1 電源プラグが差し込まれていることを確認する



2 おふろの水位が循環口上部から約5cm以上あることを確認する



お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので、必ず保温材や凍結予防ヒータで保温してください。
- おふろに水が入っていない場合は、機器外のふろ配管は凍結予防ができません。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。
- 凍結予防装置は、リモコンの運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。
- 停電の場合は、凍結予防装置が作動しません。停電するおそれがあるときは、「じゃ口から水を流す方法」か「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、「凍結予防装置による方法(自動)」に加えて、じゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。
また、お風呂の水を循環させてふろ配管の凍結を予防します。

1 電源プラグが差し込まれていることを確認する

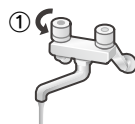
2 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

3 給湯栓を開ける

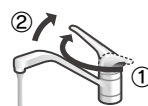
じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



- 2ハンドル混合水栓
①給湯栓を開ける



- シングルレバー混合水栓
①湯側いっぱいにする
②給湯栓を開ける



- サーモスタット付混合水栓
①最高温度にする
②給湯栓を開ける

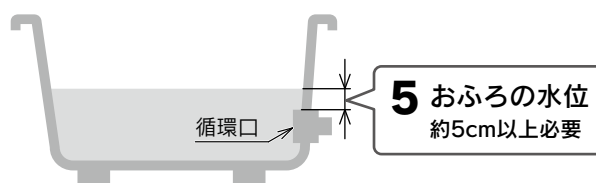


イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

4 約30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

5 お風呂の水位が循環口上部から約5cm以上あることを確認する



お知らせ

- 水を流すじゃ口は屋内の1箇所です。問題ありません。
お風呂に水をためると洗濯などの雑用水として使用できますので無駄になりません。(お風呂にじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切り替えてお風呂に流してください。)
- お風呂に水が入っていない場合は、機器外のふろ配管は凍結予防ができません。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。

冬期の凍結による破損防止について

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときやじゃ口から水を流さずに電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。



注意

●機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。
熱湯が排水されることがありますので、やけどに注意してください。

1 お風呂の水を排水する

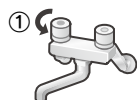
2 給水元栓を閉める

3 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

開けた給湯栓は再使用するときまで開けたままにしてください。

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



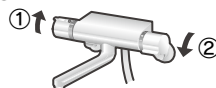
●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

4 水フィルタ(※1)またはエアチャージ栓・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓(※2)・給湯熱交排水栓・凝縮水回路排水栓(※3)をはずす(※4)

5 リモコンの運転スイッチを「入」にする

6 リモコンのふろ自動スイッチを押す

7 リモコンの追いだきスイッチを押す

循環口から水が出なくなるまで、ふろ配管内の水を排水します。

8 リモコンの運転スイッチを「切」にする

9 2分間以上経過してから電源プラグを抜く



10 中和器排水栓(※2)・ポンプ排水栓をはずす

機器より浴そうが高い場合や鳥居配管がある場合は、ふろ配管の排水栓も開けてください。

水抜き終了後、水フィルタまたはエアチャージ栓・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓・給湯熱交排水栓・中和器排水栓・凝縮水回路排水栓・ポンプ排水栓は、次にお使いになるまではずしたままにしてください。

(はずした部品は、なくさないように注意してください。)

また、水フィルタのフィルタを変形させたり、水フィルタまたはエアチャージ栓・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓・給湯熱交排水栓・中和器排水栓・凝縮水回路排水栓・ポンプ排水栓のOリングを傷つけたりしないように注意してください。

※1 水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

水フィルタが固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。

※2 床置型のみ

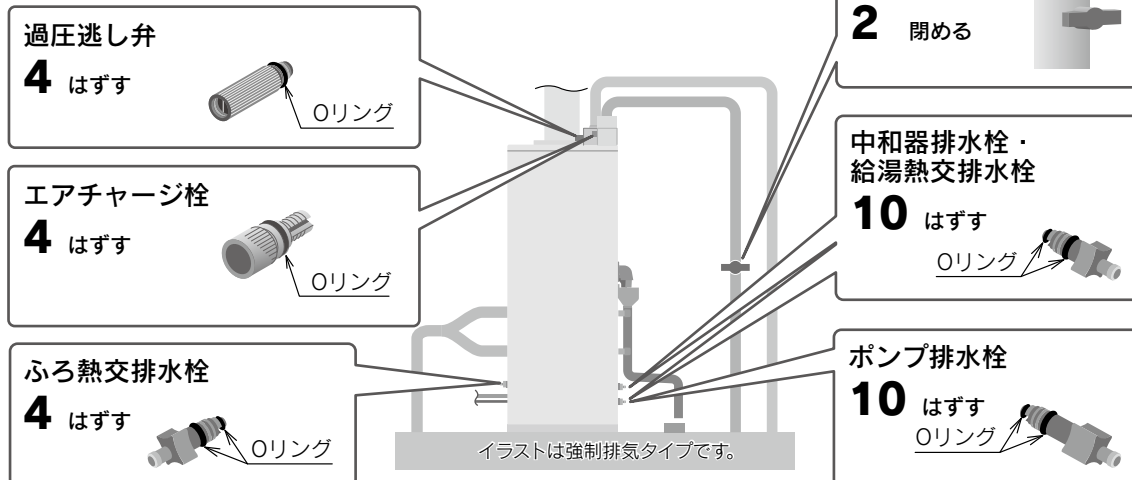
※3 壁掛型のみ

※4 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

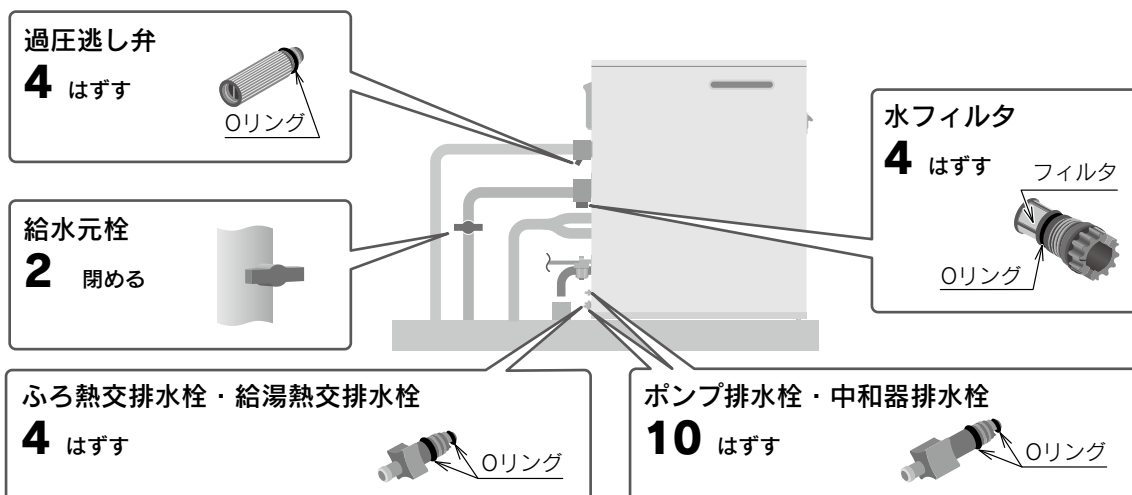
お知らせ

- 停電中はリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。
- 再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」を参照してください。28・29ページ
- 再使用するときは、お風呂に水を入れないでください。

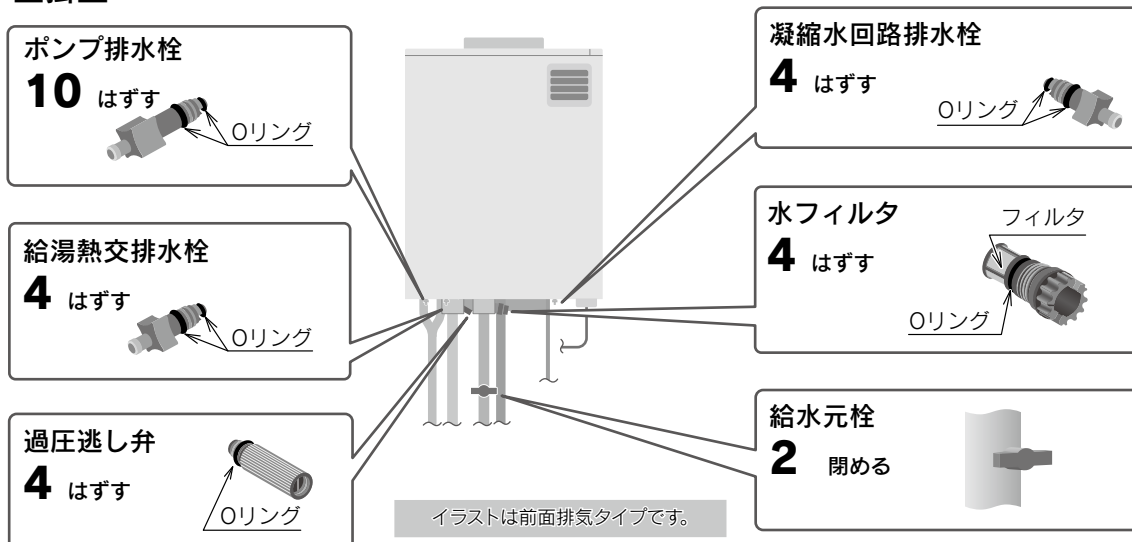
床置型（前面排気タイプ以外）



床置型（前面排気タイプ）



壁掛型



冬期の凍結による破損防止について

水抜き後の再使用のとき

1 水フィルタまたはエアチャージ栓・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓・給湯熱交排水栓・中和器排水栓・凝縮水回路排水栓・ポンプ排水栓を取り付ける

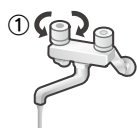
2 給水元栓を開ける

3 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

水が出にくい場合は凍結していることがありますので、水が正常に出ようになってから運転してください。
確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める



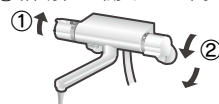
●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

4 中和器へ呼び水をする(強制給排気タイプ 2ページ)

「中和器への呼び水」に従って行ってください。 30・31ページ

5 電源プラグを差し込む



6 「点火前の準備と確認」(22・23ページ)とリモコンに付属している取扱説明書を参照して使用する

床置型
(前面排気タイプ以外)

過圧逃し弁

1 取り付ける



エアチャージ栓

1 取り付ける



ふろ熱交排水栓

1 取り付ける



給水元栓

2 開ける



中和器排水栓・
給湯熱交排水栓

1 取り付ける



ポンプ排水栓

1 取り付ける

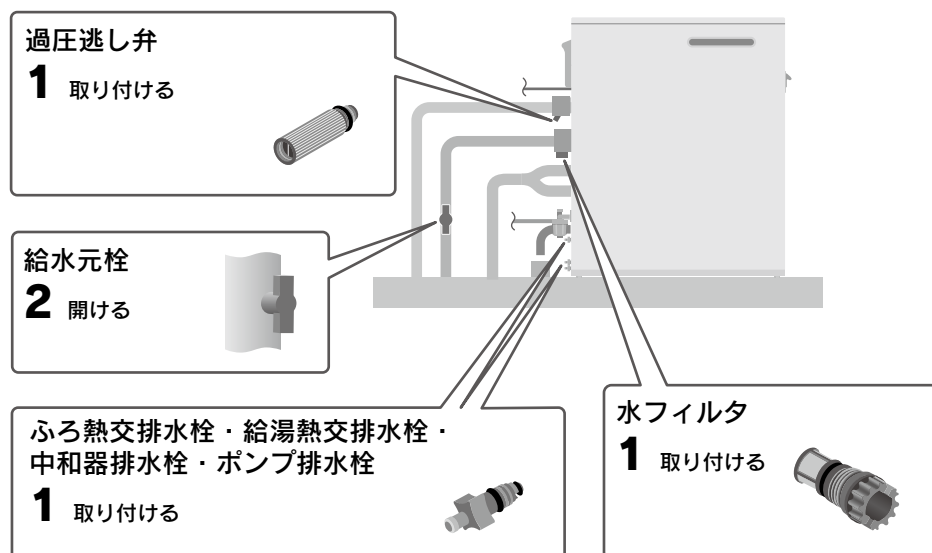


イラストは強制排気タイプです。

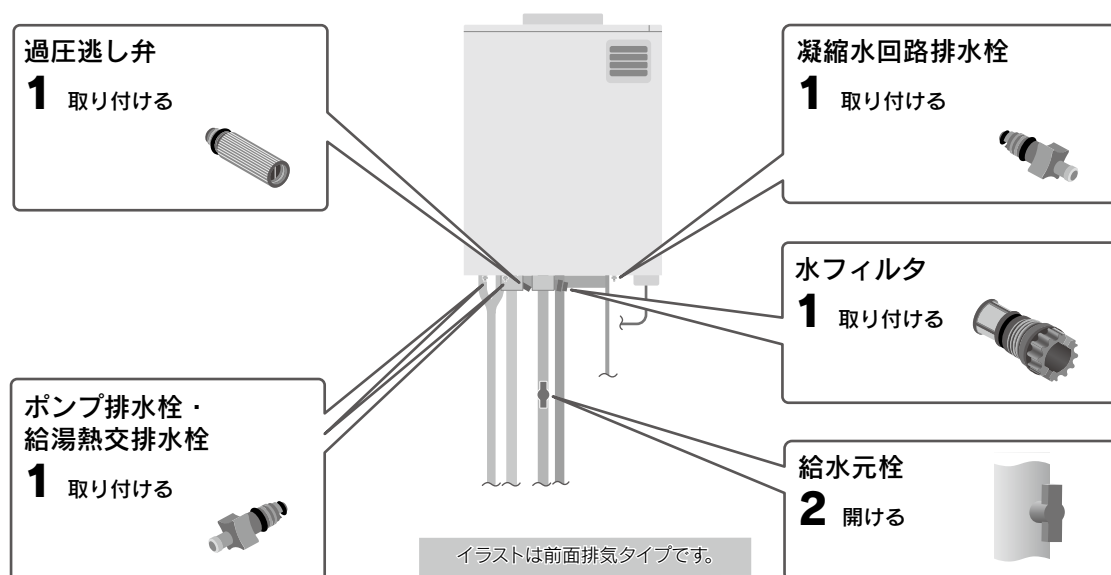
お知らせ

- 凍結した状態でリモコンの運転スイッチを「入」にするとエラーコード「651」「661」を表示することがあります。 50～53ページ
- 氷点下が長時間続いたときに、再通電時にふろ自動を行うと「562」が表示されることがあります。
リモコンの運転スイッチを「切」にしてリセットして、再度ふろ自動を行ってください。

床置型 (前面排気タイプ)



壁掛型



冬の凍結による破損防止について

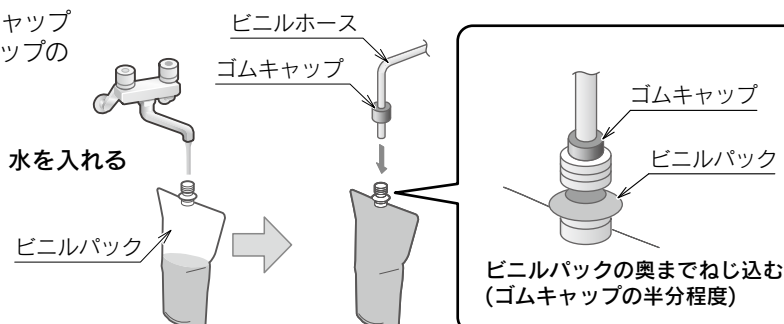
中和器への呼び水 (強制給排気タイプで床置型の場合 2ページ)

⚠ 注意

- この作業は、室内への排ガス漏れを防ぐために重要です。
機器内の水を抜いたときは、必ず運転前に行ってください。
呼び水をせずに機器を運転すると、警報になり運転することができません。

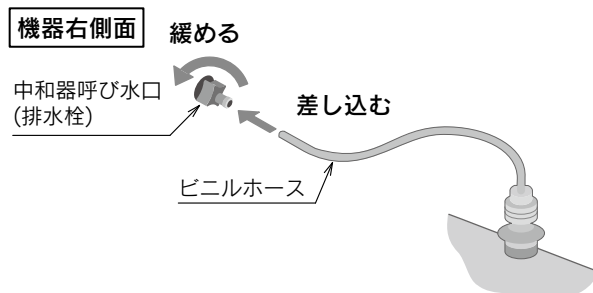
1 ビニルパックに水を入れる

1. ビニルパックが満杯になるまで水を入れてください。
2. ビニルホース(ゴムキャップ付)のゴムキャップを水が漏れないように奥まで(ゴムキャップの半分程度)ねじ込んでください。



2 ビニルホースを機器に接続する

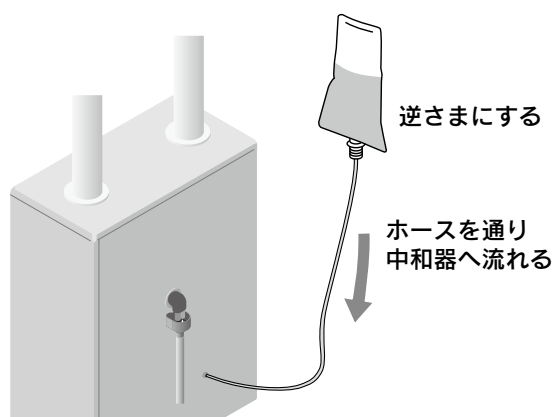
機器右側面の中和器呼び水口(排水栓) (16ページ) を反時計回りに1回転緩め、ビニルホースを差し込んでください。



3 呼び水をする

ビニルパックを機器の上の高さまで持ち上げて、逆さまにしてください。

中和器呼び水口(排水栓)から中和器へ呼び水が行われます。



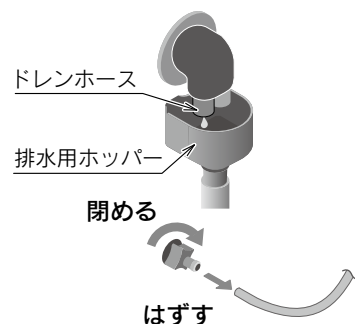
4 呼び水完了

ビニルパックの水がなくなったら終了です。

(水の量が多いと、ドレンホースから水が出ることがありますが) 異常ではありません。

中和器呼び水口(排水栓)を元通りに閉めて、ビニルホースをはずしてください。

- ・使用したビニルパックとビニルホースはなくさないように保管してください。
機器内には保管しないでください。

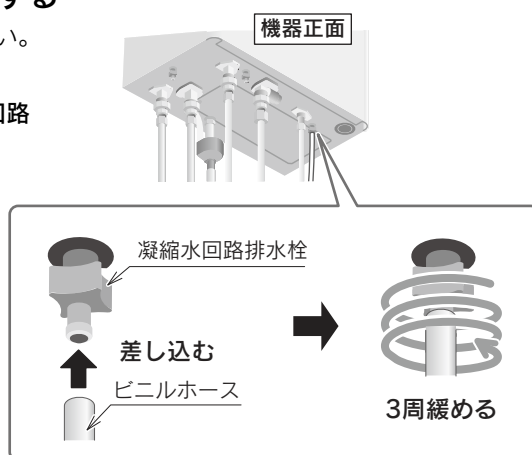
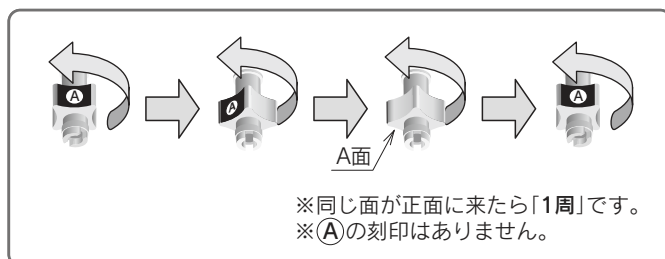


⚠ 注意

- この作業は、室内への排ガス漏れを防ぐために重要です。
機器内の水を抜いたときは、必ず運転前に行ってください。
- 中和器の呼び水をするときは運転を停止し、機器が冷めてから作業を行ってください。
熱湯が排水されることがありますのでやけどに注意してください。

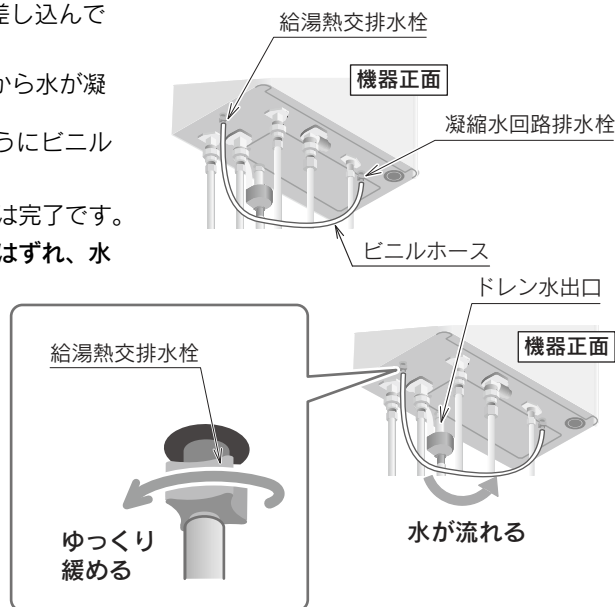
1 凝縮水回路排水栓（18ページ）とビニルホースを接続する

1. 機器底面の凝縮水回路排水栓にビニルホースを差し込んでください。
2. 凝縮水回路排水栓を反時計回りに3周緩めてください。
 - ・2周より少ない場合、2の2で水圧によりビニルホースが凝縮水回路排水栓からはずれ、水がこぼれることがあります。



2 給湯熱交排水栓（18ページ）とビニルホースを接続する

1. 1で接続したビニルホースの反対側を、給湯熱交排水栓に差し込んでください。
2. 給湯熱交排水栓を反時計回りに徐々に緩め、ビニルホースから水が凝縮水回路排水栓に入っていくことを確認してください。
ビニルホースがはずれたり、給湯熱交排水栓が動かないようにビニルホースの差し込み箇所をつまんでいてください。
3. 水が流れた状態で、ドレン水出口から水が出てきたら呼び水は完了です。
 - ・給湯熱交排水栓を緩めすぎると水圧によりビニルホースがはずれ、水がこぼれることがあります。
 - ・3分以上経過してもドレン水出口から水が出てこないときは、給湯熱交排水栓が閉じてしまったと考えられます。
給湯熱交排水栓を一度閉め直し、再度2の2を行ってください。



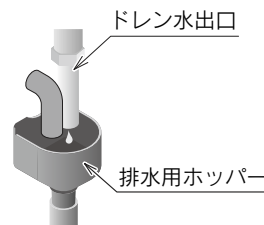
3 給湯熱交排水栓、凝縮水回路排水栓を閉める

2の2で緩めた給湯熱交排水栓、1の2で緩めた凝縮水回路排水栓の順に閉め込んでください。

4 ビニルホースをははずす

給湯熱交排水栓と凝縮水回路排水栓が、元通り閉まっていることを確認してビニルホースをははずしてください。
ビニルホースは水抜き後、再使用時に必要です。なくさないように保管してください。

- ・ビニルホース内に残っている水がこぼれないように注意してはずしてください。
- ・使用したビニルホースはなくさないように保管してください。
機器内には保管しないでください。



冬の凍結による破損防止について

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

2 ときどき、給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度給湯栓を開けてください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

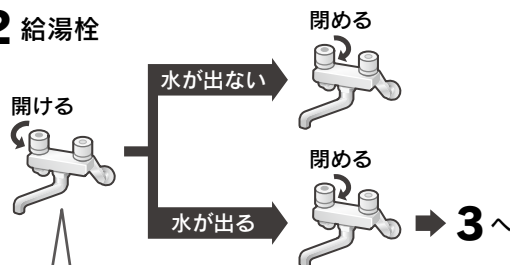
3 すべての給水栓と給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、機器や配管が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

4 「点火前の準備と確認」(22・23ページ)とリモコンに付属している取扱説明書を参照して使用する

2 給湯栓



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す
②給湯栓を開ける



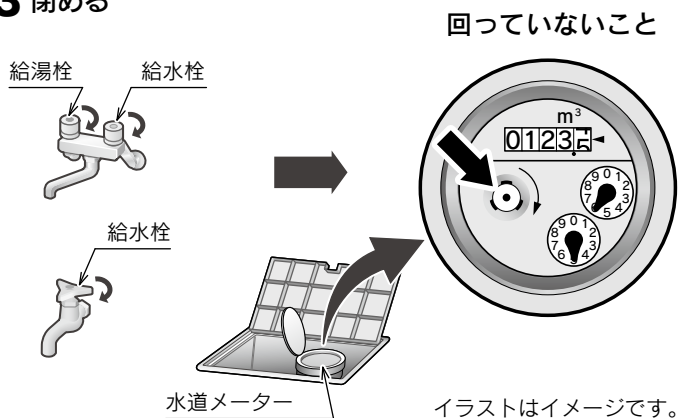
●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 閉める



強制ふろ凍結予防運転

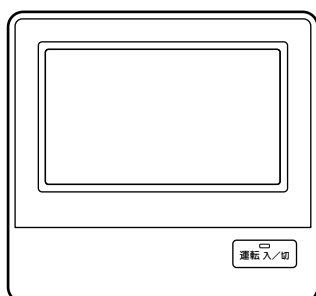
通常の凍結予防運転ではふろ配管の凍結を予防することができないときに行ってください。
(暖かい脱衣所などに機器を設置し、ふろ配管が通る床下が氷点下になるおそれがあるとき)
ふろ配管の凍結を予防するため、強制的に循環ポンプの断続運転を行います。

強制ふろ凍結予防機能の設定

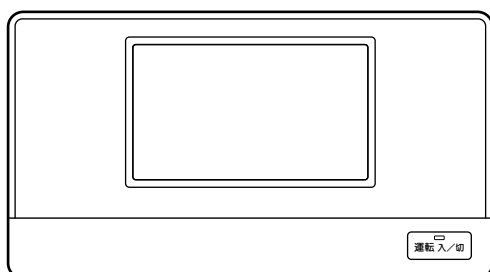
「強制ふろ凍結予防機能」を「有効(on)」にして、「強制ふろ凍結予防運転を行うときは」**36～38ページ**で「する(on)」に設定することで強制的に循環ポンプの断続運転を行い、凍結を予防します。

タッチパネルリモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



「かんたん画面」の場合は、を押して「標準画面」にしてください。
表示画面にを表示していない場合は、を押して表示させてください。

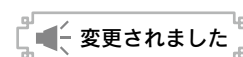
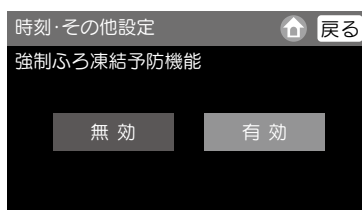
1 を押す

2 を押して「時刻・その他設定」を押す

(**2**の操作は台所リモコンのみ)

3 を押して「強制ふろ凍結予防機能」を押す

4 「有効」を押す



お買い求め時
無効

(ホームスイッチ)を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

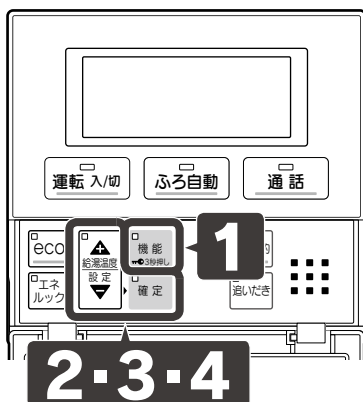
お知らせ

- 設定を途中でやめる場合はホームスイッチを押してください。通常の表示に戻ります。
- 誤操作による運転を防止したいときは、「無効」に設定してください。

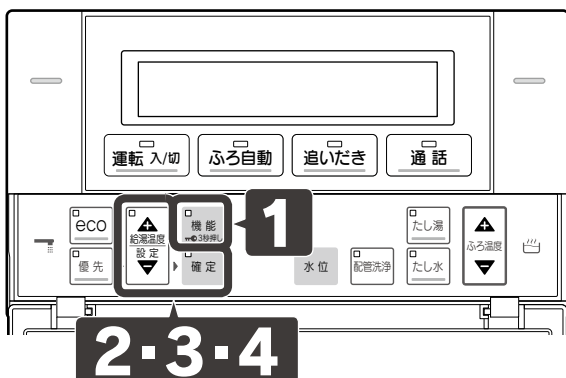
冬の凍結による破損防止について

インターホンリモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



1 機能を押す

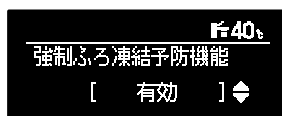
2 ▲または▼を押して「時刻・その他設定」を選び 確定を押す

(2の操作は台所リモコンのみ)

3 ▲または▼を押して台所リモコンの場合は「強制ふろ凍結予防機能」、浴室リモコンの場合は機能設定番号「26」を選び 確定を押す

4 ▲または▼を押して台所リモコンの場合は「有効」、浴室リモコンの場合は「on」(有効)を選び 確定を押す

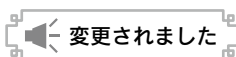
台所リモコン



浴室リモコン

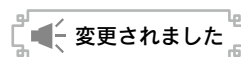


機能設定番号



お買い求め時

無効



お買い求め時

oFF (無効)

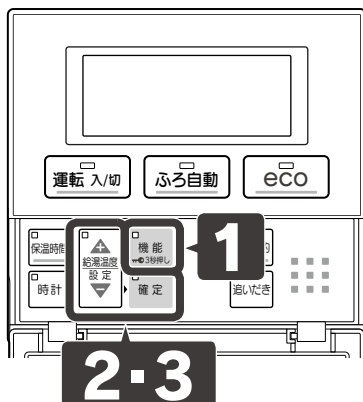
確定を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

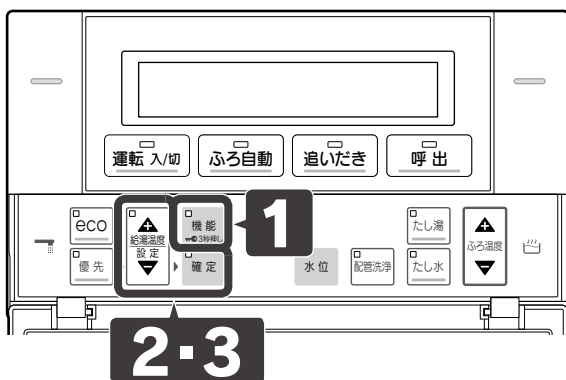
- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。通常の表示に戻ります。
- 誤操作による運転を防止したいときは、台所リモコンの場合は「無効」、浴室リモコンの場合は「oFF」(無効)に設定してください。

音声リモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



1 を押す

2 または を押して機能設定番号「26」(強制
ふろ凍結予防機能)を選び を押す

強制ふろ凍結予防の機能を設定します

3 を押して「on」(有効)を選び を
押す



機能設定番号

変更されました

お買い求め時

oFF (無効)

を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。通常の表示に戻ります。
- 誤操作による運転を防止したいときは、「oFF」(無効)に設定してください。

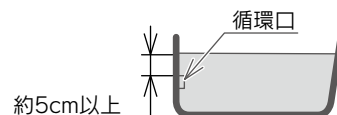
冬の凍結による破損防止について

強制ふろ凍結予防運転を行うときは

強制ふろ凍結予防機能の設定を「有効(on)」にしていないときは運転することができません。 33～35ページ

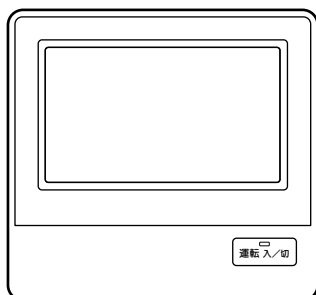
必要なこと

おふろの水位が循環口上部から約5cm以上必要です。

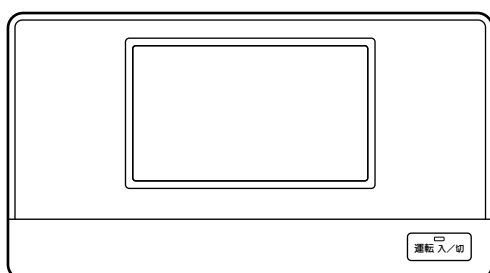


タッチパネルリモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



「かんたん画面」の場合は、を押して「標準画面」にしてください。
表示画面にメニューを表示していない場合は、を押して表示させてください。

1

メニューを押す

2

✓を押して「時刻・その他設定」を押す

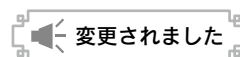
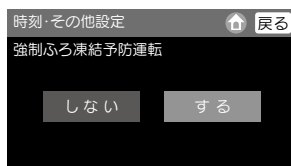
(2の操作は台所リモコンのみ)

3

✓を押して「強制ふろ凍結予防運転」を押す

4

「する」を押す



お買い求め時

しない



(ホームスイッチ)を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

循環ポンプ停止時



強制ふろ凍結予防設定中表示
します

循環ポンプ運転時



強制ふろ凍結予防運転中表示
します

- おふろのお湯(水)を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。
- 循環ポンプ運転時は循環表示がゆっくり点滅します。

お知らせ

- 停電時や電源プラグを抜いたときは、解除されます。
- 設定を途中でやめる場合はホームスイッチを押してください。通常の表示に戻ります。
- 強制ふろ凍結予防運転が連続で180日間続くと、切り忘れ防止のためにが点滅します。停止する場合は、「強制ふろ凍結予防運転」の設定で「しない」を押してください。続ける場合は、「強制ふろ凍結予防運転」の設定で「しない」を押しての点滅を解除してから、再度メニューから「強制ふろ凍結予防運転」の設定で「する」を押して強制ふろ凍結予防運転を開始してください。

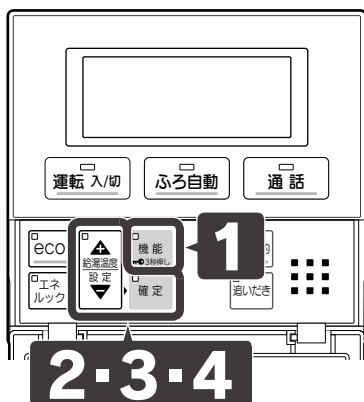
強制ふろ凍結予防運転の停止方法

4

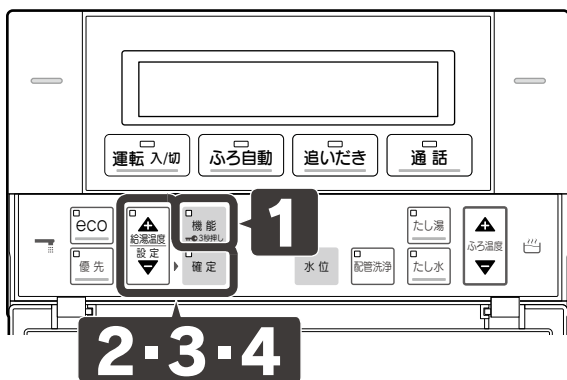
で「しない」を押す

インターホンリモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



1



を押す

2



または▼を押して「時刻・その他設定」を選び



を押す

(2の操作は台所リモコンのみ)

3



または▼を押して台所リモコンの場合は「強制ふろ凍結予防運転」、浴室リモコンの場合は機能設定番号「27」を選び



を押す

4

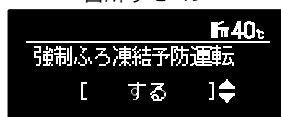


または▼を押して台所リモコンの場合は「する」、浴室リモコンの場合は「on」(する)を選び



を押す

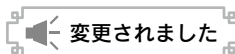
台所リモコン



浴室リモコン

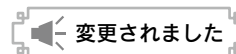


機能設定番号



お買い求め時

しない



お買い求め時

oFF (しない)



を押すと通常の表示に戻ります。

(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

- 停電時や電源プラグを抜いたときは、解除されます。
- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押ししてください。
- 強制ふろ凍結予防運転が連続で180日間続くと、切り忘れ防止のために ※ または ※ が点滅します。停止する場合は、「強制ふろ凍結予防運転」の設定で台所リモコンの場合は「しない」、浴室リモコンの場合は「oFF」(しない)を選択してください。続ける場合は、「強制ふろ凍結予防運転」の設定で台所リモコンの場合は「しない」、浴室リモコンの場合は「oFF」(しない)を選択して ※ または ※ の点滅を解除し、再度メニューから「強制ふろ凍結予防運転」の設定で台所リモコンの場合は「する」、浴室リモコンの場合は「on」(する)を選択して強制ふろ凍結予防運転を開始してください。

循環ポンプ停止時

台所リモコン



浴室リモコン



強制ふろ凍結予防設定中に表示します

循環ポンプ運転時

台所リモコン



浴室リモコン



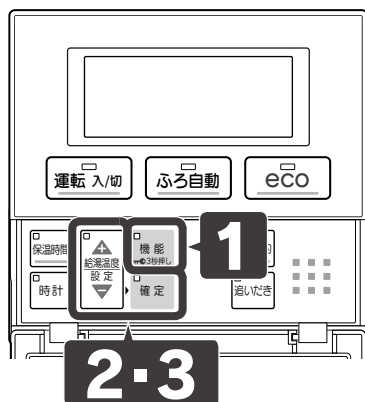
強制ふろ凍結予防運転中に表示します

- おふろのお湯(水)を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。
- 循環ポンプ運転時は循環表示がゆっくり点滅します。

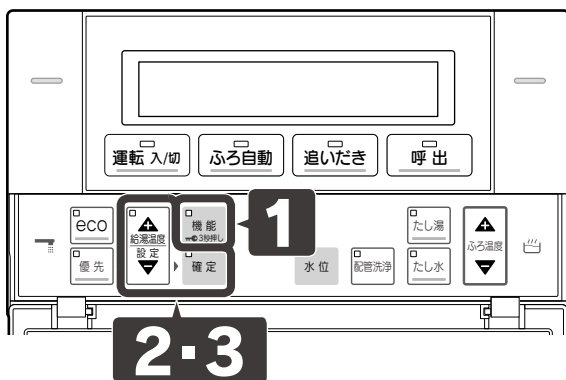
冬の凍結による破損防止について

音声リモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



1 ☐ 機能 を押す

2 ☐ + または ☐ - を押して機能設定番号「27」を選び ☐ 確定 を押す

☐ 強制ふろ凍結予防運転を設定します

3 ☐ + または ☐ - を押して「on」(する)を選び ☐ 確定 を押す



機能設定番号

☐ 変更されました

お買い求め時

oFF(しない)

☐ 確定 を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

循環ポンプ停止時

台所リモコン



浴室リモコン



強制ふろ凍結予防設定中に表示します

循環ポンプ運転時
浴室リモコン



強制ふろ凍結予防運転中に表示します

- お風呂のお湯(水)を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。
- 循環ポンプ運転時は循環表示がゆっくり点滅します。

お知らせ

- 停電時や電源プラグを抜いたときは、解除されます。
- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。
- 強制ふろ凍結予防運転が連続で180日間続くと、切り忘れ防止のために❄️が点滅します。
停止する場合は、**3**の設定で「oFF」(しない)を選択してください。
続ける場合は、**3**の設定で「oFF」(しない)を選択して❄️の点滅を解除し、再度メニューから**3**の設定で「on」(する)を選択して強制ふろ凍結予防運転を開始してください。

石灰分が多い水質(硬水)の地域では

- 石灰分が多い水質(硬水)の地域では、機器内にお湯が残ったままにしておくと石灰分が固着して、効率低下や機器の破損などの原因になります。
- お湯を使った後は、次の操作を行ってください。

1 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

2 給湯栓を開ける

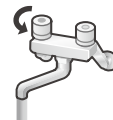
機器内にたまったお湯を流し出してください。

3 給湯栓を閉める

冷たい水が出始めたら、すぐに給湯栓を閉めてください。
(長時間水を出したままにすると給湯器の寿命を縮めます。)

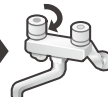
給湯栓

開ける



お湯から水になる

閉める



※「使用上の注意」(14ページ)に「リモコンの運転スイッチが「切」のときは給湯栓を開けない」と記載していますが、石灰分の多い地域ではお湯の排出を優先してください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」を参照して水抜きを行ってください。 26・27ページ

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部には十分に注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

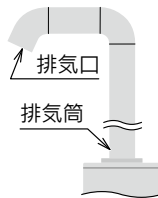
点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

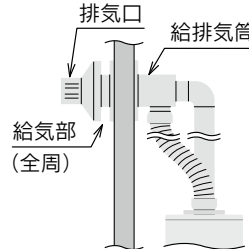
排気筒・給排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

排気筒・給排気筒・拡散排気筒の接続部に緩みがないこと、またススがついていないことを確認してください。
緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

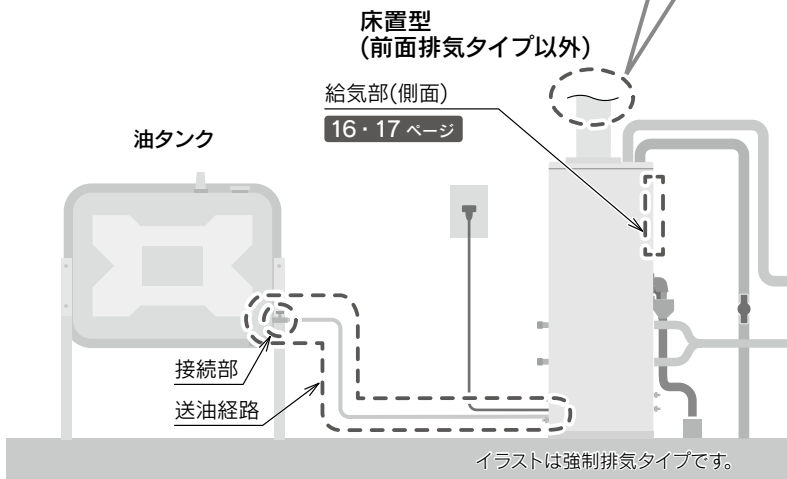
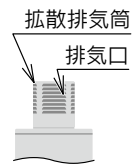
強制排気タイプ



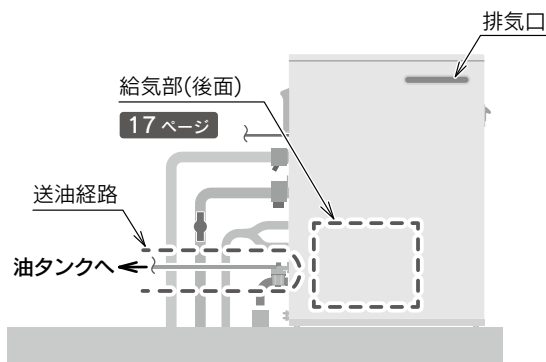
強制給排気タイプ



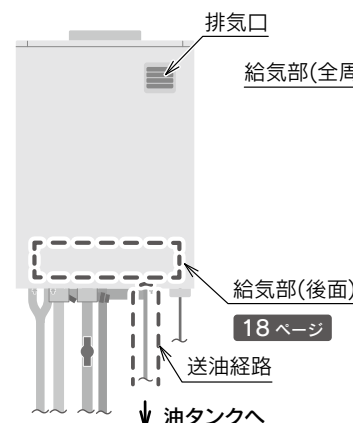
無煙突タイプ



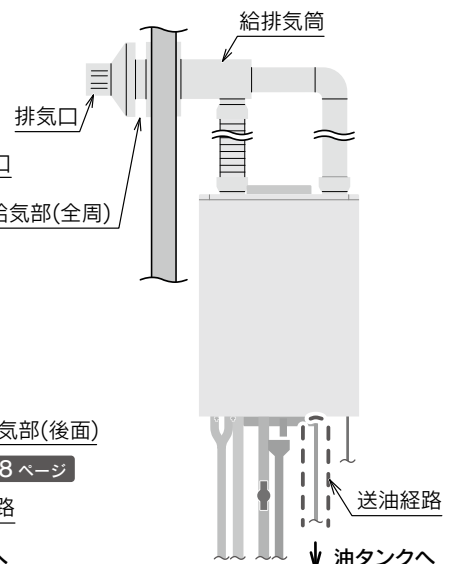
床置型
(前面排気タイプ)



壁掛型
(前面排気タイプ)



壁掛型
(強制給排気タイプ)



毎日

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

機器・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすい物がないことを確認してください。

機器外観

●排気口・給気部・排水配管の先端

ほこりやゴミなどでふさがれていないことを確認してください。

●外装

部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。

適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



リモコン

- 水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

配管クリーン

ふろ配管内に残っている残り湯を洗い流します。

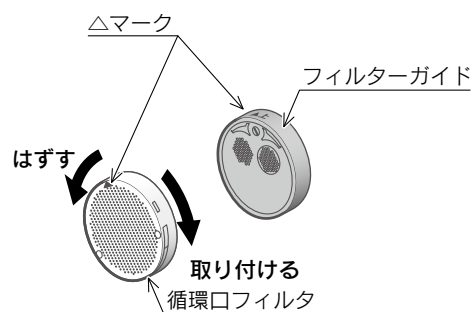
リモコン取扱説明書参照

水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

循環口フィルタの掃除

循環口フィルタを左に回し、手前に引いてはずしてください。
歯ブラシなどでフィルタの汚れを掃除してください。
掃除終了後は、フィルターガイドの△マークに循環口フィルタの△マークを合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定してください。
※循環口フィルタは必ず取り付けてください。



日常の点検・手入れ

適時に

水フィルタの掃除 (EHK-4771DXE・EHK-4771DXF・EHK-4771DAF・EHK-4771DSAをお使いの場合は、)
お買い求めの販売店に依頼してください。

水フィルタにゴミなどがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除してください。



注意

●機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。
熱湯が排水されることがありますので、やけどに注意してください。

1 給水元栓を閉める

2 屋内の給湯栓を1箇所開ける

3 水フィルタをゆっくりはずし、掃除する ※水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

水フィルタをはずしたときに配管内に残っている水が出ます。

掃除は歯ブラシなどを使用してください。

フィルタを変形させたり、Oリングに傷をつけないように注意してください。

水フィルタが固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。

4 水フィルタを元通りに取り付ける

5 給水元栓を開ける

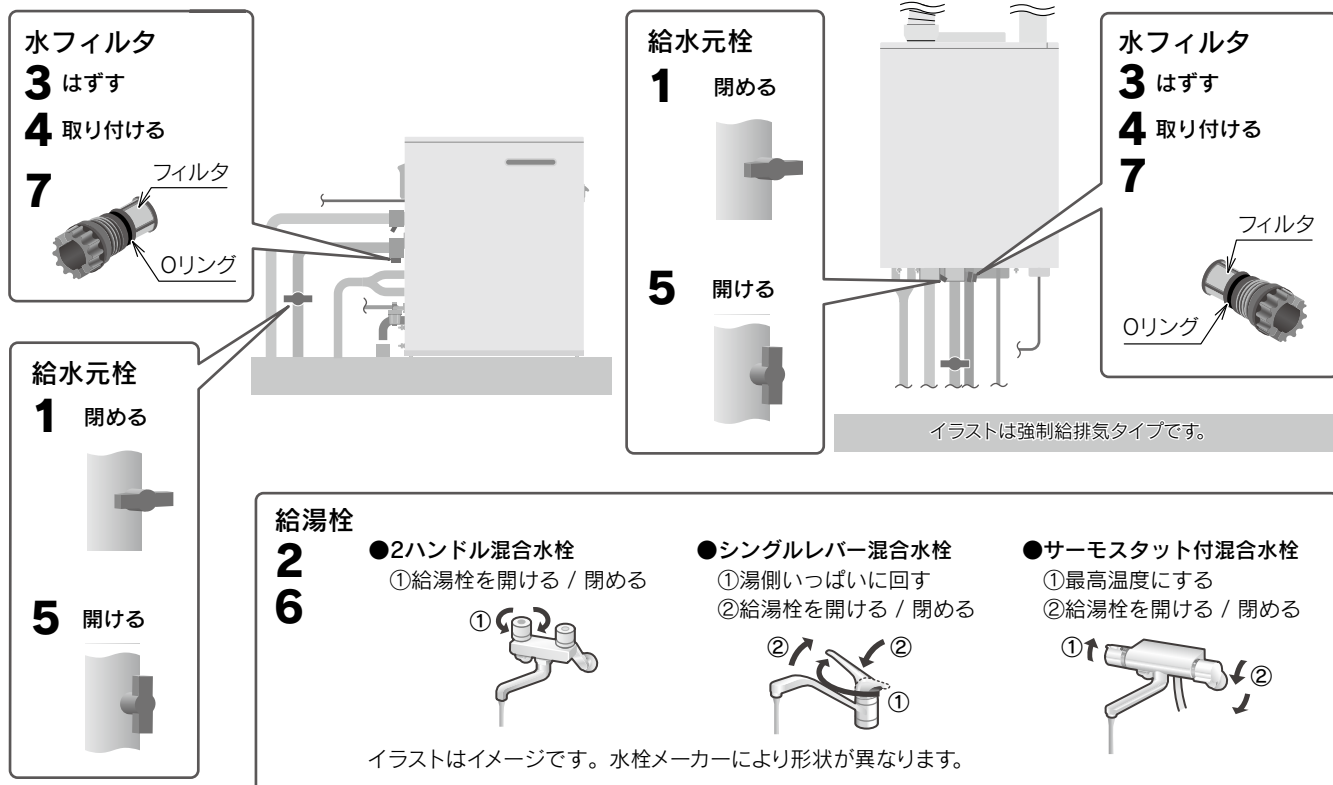
6 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

7 水フィルタから水漏れがないことを確認する

床置型

壁掛型



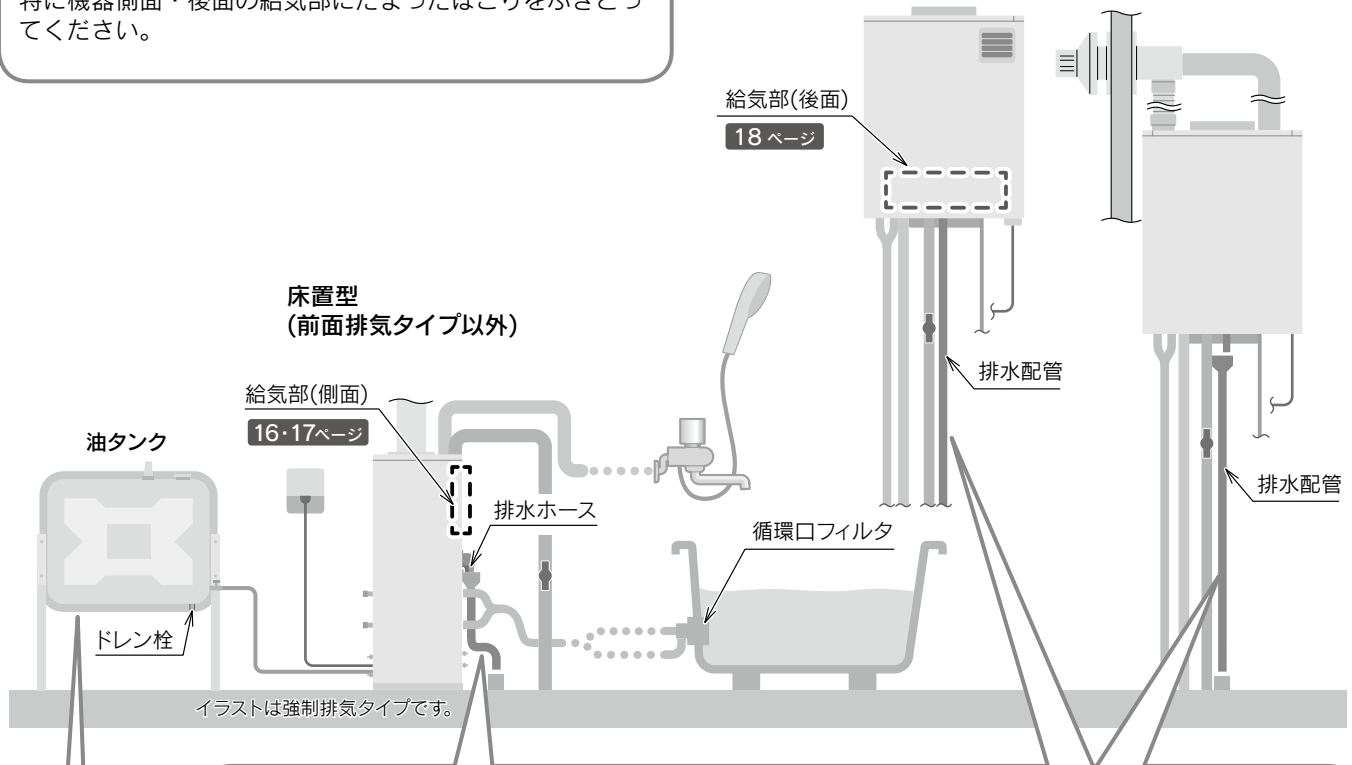
1年に1回以上

ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
特に機器側面・後面の給気部にたまったほこりをふきとってください。

壁掛型
(前面排気タイプ)

壁掛型
(強制給排気タイプ)



ご使用の前に

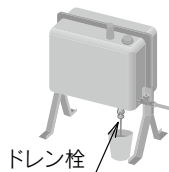
必要ときに

排水ホース・排水配管の確認

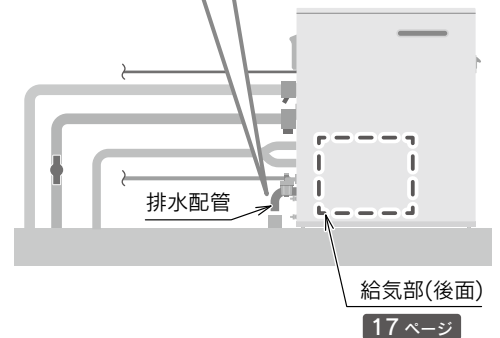
バーナーが燃焼していない状態で、排水ホース・排水配管からお湯(水)が出ていないことを確認してください。(燃焼中または燃焼後1分間はお湯(水)が出るがありますが、異常ではありません。)
常に水が出ている場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

油タンク

油タンクの底に結露した水がたまりま
す。
ドレン栓を開けて抜きとってください。
(ドレン栓の形状はタンクによって異
なります。)



床置型
(前面排気タイプ)



ゴム製送油管の点検・交換のめやす (強制排気タイプ・強制給排気タイプの場合 2ページ)

屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。
交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

油ストレーナの点検

油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。
点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては(公社)日本水道協会発行の「**給水用具の維持管理指針**」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。
(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。
ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、**添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入の上、必ず返送してください。**
- 詳しくは「**特定保守製品についての説明書**」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

こんなときは	確認してください
お湯も水も出ない	● 断水していませんか。 ● 給水元栓が全開になっていますか。 ● 配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 32ページ
給湯栓を開けてもお湯が出ない お湯の出が悪い	● 油タンクの送油バルブは開いていますか。 ● 燃料切れしていませんか。給油してください。 20ページ ● 給湯栓をもう少し開けてください。じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。点火できる最少の流量は、毎分約2.5リットルです。 ● リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ● ふろ自動中など、シャワーやじゃ口以外でお湯を使用しているときは、シャワーやじゃ口から出るお湯の量が少なくなることがあります。 ● 水フィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 42ページ ● 給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 ● サーマスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高く設定するとシャワーの勢が強くなります。 ● ECOスイッチを「入」にしていると、ECO機能が作動し出湯量が減ることがあります。 リモコン取扱説明書参照
シャワーやじゃ口 お湯が出なくなった	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 20ページ ● 給湯栓を絞りすぎると(毎分約2.5リットルより少ない場合)点火しないことがあります。 ● 安全装置・その他の装置の作動が考えられます。 49ページ リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」を参照して処置を行ってください。 50～53ページ ・ 対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・ 燃焼制御装置の場合 「111」・「112」・「121」・「122」・「130」・「510」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・ 異常過熱防止装置の場合 「150」・「160」・「590」のいずれかを表示します。 この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電後、復帰したのにお湯が出ない	● 停電すると運転は停止し、リモコンの運転スイッチが「切」になります。停電復帰後は、リモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	● 配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。
お湯がぬるい (設定した給湯温度にならない)	● リモコンの給湯温度はめやすです。配管の放熱により、設定した給湯温度よりも低くなることがあります。 ● サーマスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定して使用してください。 ● 1箇所の混合水栓のみお湯の温度が設定した給湯温度にならないときは、混合水栓の故障が考えられます。 ● お湯を使用中に追いだきをする、シャワーやじゃ口のお湯がぬるくなることがあります。
お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	● お湯を出したり止めたりを繰り返していませんか。 ● 2箇所以上でお湯を使用していませんか。 ● 水道の圧力が変動していませんか。
低温のお湯が出ない	● 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもう少し開けて水と混ぜて使用してください。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
シャワーやじゃ口	高温のお湯が出ない	● リモコンの給湯温度の設定が低くなっていませんか。
	給湯温度が変更できない	● 操作しているリモコンが優先になっていますか。「優先」を切り替えてください。 リモコン取扱説明書参照
	お湯が白く見える	● 水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。

お風呂	通常にくらべお湯はりに時間がかかる	● お湯はり時間は給水温度の違いによって、夏期は短く冬期は長くなります。 ● 残り湯があるときや、お湯はり中にシャワーやじゃ口のお湯を使用したときは、お湯はりを中断するため沸き上げ時間が長くなることがあります。
	お湯はりが予約時刻に終了しない	● 現在時刻が合っていることを確認してください。 ● 残り湯の状態・水圧・給水温度などの条件により前後します。
	ふろ予約が解除された	● 停電すると、ふろ予約が解除されます。
	おふろの温度やお湯の量が設定通りにならない	● ふろ保温を中止したとき、たし湯やたし水をしたときは、おふろの温度が低くなったり、お湯の量が多くなったりすることがあります。 ● お湯はり中にリモコンのふろ温度の設定を変更すると、変更した温度より高くなる場合があります。 ● 残り湯がある状態でふろ自動をすると、ふろ水位が変わることがあります。 ● お湯はり終了前に入浴していませんか。 ● 循環口フィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。 41ページ ● 循環口フィルタが確実に取り付けられていますか。
	おふろに関する動作中以外でおふろの水位が上昇する	● 機器の故障が考えられます。給水元栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	お湯はり中に循環口からお湯が出たり止まったりする	● 機器がお湯の温度や量を確認しているためです。故障ではありません。
	循環口から泡が出る	● ふろ配管内に残っていた空気や水中に溶けていた空気が気泡になって出てくるためです。
	循環口から水が出る	● ふろ自動・ふろ保温・たし湯・追いだきの開始直後は、配管内に残っている水が出てくる場合があります。 ● 外気温が低いときは凍結予防のため循環ポンプが作動して、配管内に残っている水が出てくる場合があります。 ● ふろ自動終了後、おふろの排水栓を抜くと配管クリーン(自動)が作動して循環口からお湯が出ます。(※1) リモコン取扱説明書参照
	追いだきやふろ保温中に燃焼表示が表示したり、消えたりを繰り返すことがある	● 機器がふろ温度を調節しているためです。異常ではありません。
	追いだきやふろ保温ができない 追いだきやふろ保温が途中で停止する	● おふろの循環口上部から約5cm以上お湯(水)が入っていますか。 ● 循環口フィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。 41ページ ● 断水しているときは追いだきやふろ保温はできません。
	お湯はりやたし湯が中断する	● お湯はり中やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、お湯はりやたし湯を中断することがあります。
	たし水が中止された たし水しない	● たし水中にシャワーやじゃ口でお湯を使用したときや追いだき・たし湯をしたときは、たし水を中止します。 ● お湯を使用しているときは、たし水を受け付けません。
	たし水中に燃焼した	● 次にお湯を使用するときに冷たい水が出ることを予防するため、たし水が終了する前に燃焼します。
	浴そうのお湯(水)が青く見える	● 光の波長の関係で浴そうやお湯(水)が青く見えることがあります。

	こんなときは	確認してください
おふろ	浴そうや洗面用具などが青くなる	● 配管(銅配管)から溶け出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。(使いはじめに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で十分に洗い流してください。)
	ふろ自動や追いだきを始めるとにごったお湯が出る	● 入浴剤を使用した後は、配管クリーンをしないと配管内の残り湯が混入し、にごったお湯が出る場合があります。特ににごり系の入浴剤を使用した後は目立ちます。 ● 1年に1回以上は「配管洗浄」を行ってください。 リモコン取扱説明書参照
	配管クリーンをしない	● ふろ自動・追いだき・たし湯・たし水中は配管クリーンを受け付けません。 リモコン取扱説明書参照 ● シャワーやじゃ口でお湯を使用中に配管洗浄スイッチを押すと、お湯の使用が終了してから配管クリーンを行います。
	配管洗浄や配管クリーンが中断する	● すすぎ(配管内にきれいなお湯を流す)中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、配管洗浄や配管クリーンは一時中断します。
	配管洗浄をしない	● 残り湯がおふろの循環口上部から約5cm以上ないときは、すすぎ(配管内にきれいな水を流す)のみを行います。 リモコン取扱説明書参照 ● ふろ自動・追いだき・たし湯・たし水中は、配管洗浄を受け付けません。 リモコン取扱説明書参照 ● シャワーやじゃ口でお湯を使用中に配管洗浄スイッチを押すと、お湯の使用が終了してから配管洗浄を行います。

機器	排気口から湯気が出る	● 排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。異常ではありません。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音がする	● 機器内の排ガスを排出するため、燃焼が停止しても送風機が動いている音です。
	過圧逃し弁からお湯(水)が出る	● 燃焼中は上昇した機器内の圧力を逃がすときにお湯が出ます。
	寒いときに機器から音がする	● 外気温が下がるとふろ配管の凍結を予防するために、循環ポンプが運転・停止を繰り返します。
	運転前や停止後に機器から音がする	● お湯の温度を調節するための部品が動いている音です。異常ではありません。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	● 「燃料切れをしたときは」を参照して、送油経路の空気抜きを行ってください。 20ページ
	排水配管(ドレン水出口)から水が出る	● この機器は高効率型ですので、燃焼中は機器内で発生した凝縮水が出ます。

リモコン	何も表示しない リモコンの運転スイッチが「入」にならない	● 停電していませんか。 ● 電源プラグが差し込まれていますか。 ● 安全装置(漏電ブレーカ)またはその他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 49ページ 電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	● 使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。
	スイッチ操作ができない	● 「チャイルドロック」が設定されていないことを確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	表示画面が省エネモードにならない 表示画面のバックライトが暗い、または消灯している	● 「表示画面省エネモード」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	音声案内をしない、または小さくなった	● 「音声ガイド音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照 ● スピーカーに水がたまると音声小さくなる場合があります。水をふきとってください。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
リモコン	操作音がしない、または小さくなった	●「 操作音量 」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	操作していないのに音が出る	●他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからも音声やブザーでお知らせすることがあります。
	表示画面の色が変化する	●表示画面を正面以外から見ると表示色に変化して見えることがあります。また、表示内容などにより明るさにムラが生じることがあります。
	表示画面の切替わりが遅い	●気温が下がると表示の切替わりが遅くなる場合があります。
	油面計表示が点灯しているのに油タンクに灯油がない	●灯油残量表示機能はこの機器が消費した灯油の量を算出し、油タンクにどれくらいの灯油の残量があるかを計算して表示しています。 油タンクに複数の機器を接続している場合は、他の機器で消費した灯油の量を計算していないので、実際の灯油の残量を正しく表示できません。 リモコン取扱説明書参照 ●別売のOC-5(油切れ予告装置)を接続している場合は、設定をもう一度し直してください。設定方法はOC-5に付属の説明書をご覧ください。 それでも直らない場合は、OC-5の不良が考えられます。電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	時計を表示しない	●「 現在時刻 」を設定してください。 リモコン取扱説明書参照
	通話ができない※2	●音声ガイドが流れているときは通話できません。
	通話の呼び出し音がブザー音に変わった※2	●音声ガイド音量を「00」(切)・「0」(切)に設定すると呼び出し音がブザーに変わります。
	会話をすると「キーン」という大きな音がする(ハウリングする)※2	●浴室のドアを開けたまま通話するとハウリングが発生することがあります。また、台所リモコンと浴室リモコンの取付場所が近いときもハウリングを起こすことがあります。この場合は「 通話音量 」を下げて使用してください。 リモコン取扱説明書参照 音量を下げてでもハウリングが直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
	通話が途切れて会話ができない※2	●シャワー使用中やリモコンの周囲が騒々しいときは「 話す 」側と「 聞く 」側の自動切替えがうまくできないことがあります。この場合はリモコンの通話スイッチを押しながら話をしてください。 ●相手が話をしている途中で話しかけると自動切替えができず、お互いの話が途切れて聞きとれなくなります。相手が話し終わったらリモコンに向かって話をしてください。 ●マイクに水滴が付くと音が伝わらないことがあります。
	通話中に雑音が混ざる、または一瞬途切れる※2	●故障ではありません。機器の設置状況や使用環境などによって起こることがあります。 ●リモコンから20cm以内に物を置くと、通話が途切れることがあります。 ●ハンズフリー方式の場合、話しはじめの音声が一瞬途切れて聞こえることがあります。
	スイッチが勝手に反応する※3	●リモコンの表面を布などでふくと、指での操作と誤検知してスイッチが反応することがあります。 お掃除の際は「 タッチスイッチ 」の設定を行ってください。 リモコン取扱説明書参照
	タッチしたところと違うところが反応する※3	●1つの指で表示画面を触りながら、別の指で操作するなど、2箇所以上同時に押した場合は、正常に作動しません。1箇所だけ押してください。 ●弱く押すと正常に反応しないことがあります。指先で強めに押してください。 ●使用していくうちに、タッチの位置にずれが生じることがあります。「 タッチパネル補正 」でずれを調節してください。 リモコン取扱説明書参照
	画面をタッチしても反応しない※3	●反応しないときは、指先で強めに押してください。 ●表示画面に市販の保護シートを貼り付けると、正常に作動しないことがあります。反応しない場合は保護シートをはがしてご使用ください。
	ふろタイマーのポップアップ画面で閉じるスイッチが押せない※3	●タッチスイッチ無効時間中にふろタイマーのポップアップ画面が出た場合、0秒になるまで閉じるスイッチは押せません。 リモコン取扱説明書参照

※1 フルオートの場合

※2 タッチパネルリモコン・インターホンリモコンの場合

※3 タッチパネルリモコンの場合

3ページ

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・途中失火したとき・異常燃焼したときに作動して運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたりしたときに作動して運転を停止します。
漏電ブレーカ	万一漏電したときに作動して運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
異常過熱防止装置	熱交換器が異常過熱したときに作動して運転を停止します。
温度ヒューズ	
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように、凍結予防ヒータが作動して凍結を予防します。凍結のおそれなくなると、凍結予防ヒータは停止します。
	機器内の温度が下がると、おふろの水を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。(おふろに水がない場合は、ふろ配管の凍結予防はできません。)凍結のおそれなくなると、おふろの水の循環は停止します。
電流ヒューズ	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに作動して運転を停止します。
送風機ヒューズ	
過圧逃し弁	熱交換器の圧力が異常上昇したときに作動して圧力を逃がします。
中和器つまり検知装置	中和器や配管がつまり、ドレン水の排水ができなくなるとエラーコードを表示してお知らせします。
圧力スイッチ (EHK-4771DXF) (EHK-4771DAF)	中和器内に水がない、または少ないときにエラーコードを表示してお知らせします。
ドレン水トラップ異常 検知装置 (EHK-4771DKXF) (EHK-4771DKAF)	トラップケース内に水がない、または少ないときにエラーコードを表示してお知らせします。
油切れ予告装置 (別売部品)	リモコンに灯油の残量を表示し(※)少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。

※ 灯油の残量を表示しないタイプもあります。 **21ページ**

故障かな？と思ったら

エラーコード

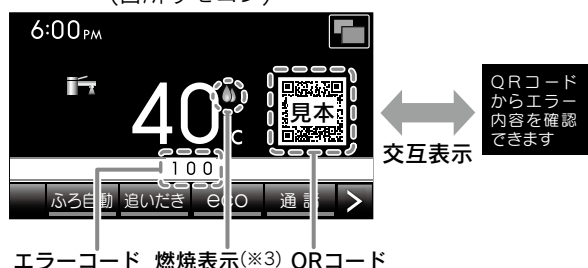
- 異常・故障の場合はリモコンにエラーコードとQRコード(※1)(※2)を表示します。
エラーコードを表示したときは、「リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき」を参照してください。 **51ページ**
また、QRコードをスマートフォンなどで読み取るとエラーコードの処置方法を調べることができるWebページが開きます。
※1 タッチパネルリモコン・インターホンリモコンの台所リモコンのみ
※2 QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- エラーコードと同時に表示するQRコードは消すことができます。 **リモコン取扱説明書参照**

エラーコード・QRコード表示位置

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

※3 エラーコード表示中で機能停止状態の場合は燃焼表示が点滅し、警告表示(**53ページ**)の場合は燃焼表示の点滅はありません。

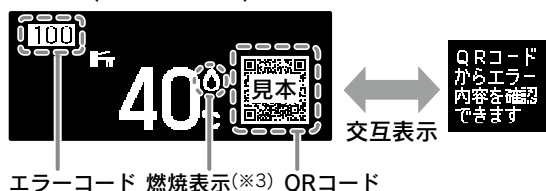
タッチパネルリモコンの場合
(台所リモコン)



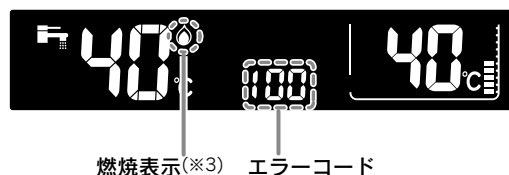
タッチパネルリモコンの場合
(浴室リモコン)



インターホンリモコンの場合
(台所リモコン)



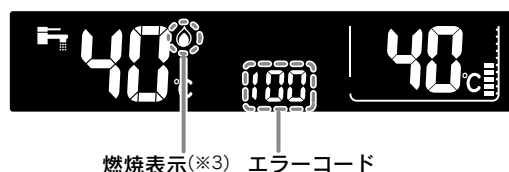
インターホンリモコンの場合
(浴室リモコン)



音声リモコンの場合
(台所リモコン)

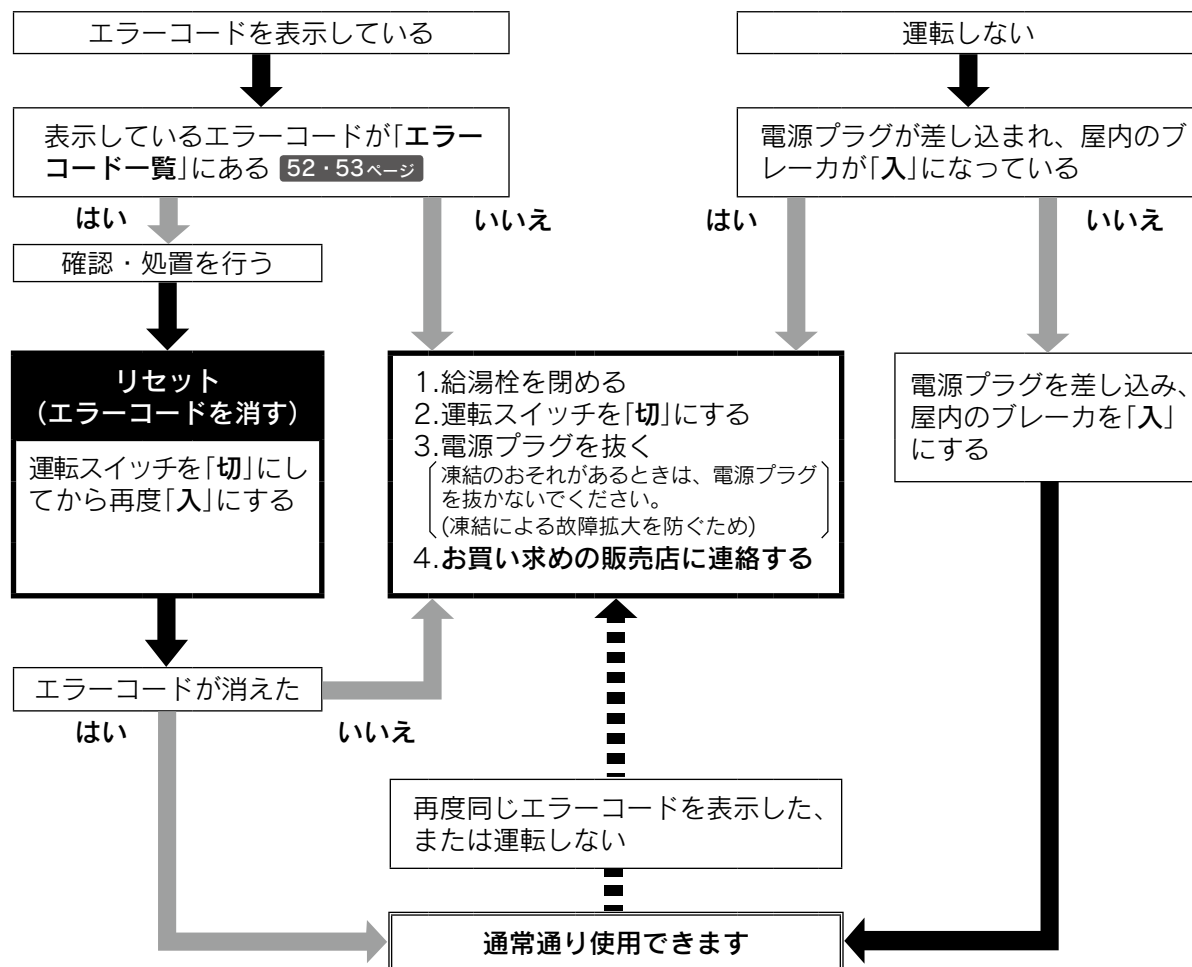


音声リモコンの場合
(浴室リモコン)



リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

● 以下の処置を行ってください。



故障かな？と思ったら

エラーコード一覧

●記載していないエラーコードを表示したときは、使用を中止してお買い求めの販売店にご連絡ください。
 (「リモコンにエラーコードを表示したとき / 機器が運転しないとき」を参照してください。 [51ページ](#))

エラーコード	説 明	確 認・処 置
002	初めてのふろ自動開始時におふろにお湯(水)が入っている (警告表示)	おふろのお湯(水)を一度全部抜いてから、再度ふろ自動を行ってください。 (設置後最初に行うふろ自動は、おふろにお湯(水)がない状態で行ってください。)
012	追いだき異常 (警告表示)	長時間連続で追いだきした場合に機器を停止します。 循環口フィルタにゴミなどがつまっていないことを確認してください。 41ページ シャワーやじゃ口でお湯の使用はできますが、ふろ自動・追いだき・たし湯・たし水ができません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
032 252 412 562 632	自動でお湯はり、たし湯やたし水ができない またはふろ保温や追いだきができない (警告表示)	排水栓をせずにふろ自動を行うと、エラーコード「032」を表示します。 おふろの排水栓がしっかり閉まっていることを確認してください。 ふろ保温や追いだきを行うときは、おふろの循環口上部から約5cm以上お湯が入っていることを確認してください。 循環口フィルタにゴミなどがつまっていないことを確認してください。 41ページ お湯はり中や追いだき中に断水しませんでしたか。断水時は追いだきできません。 シャワーやじゃ口でお湯の使用はできますが、ふろ自動・追いだき・たし湯・たし水ができません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
100	地震や強い振動・衝撃を受けた	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
111 112 130	着火できない	油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブが充分開いていることを確認してください。
121 122 510	燃焼中に火が消えた	（燃料切れをしていた場合は、給油後にリセットをして給湯栓を開ける操作を2～3回行ってください。リセットをして給湯栓を開ける操作を約5回繰り返すと、リモコンに「130」のエラーコードを表示して、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。 20ページ ）
131 350 721 722	部品の異常を検知した	リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にしてください。(リセット) (リセットを繰り返すと、リモコンに「131」のエラーコードを表示して、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。)
260 ^(※1) 291 ^(※2)	機器に呼び水をする前にリモコンの運転スイッチを「入」にした	リモコンの運転スイッチを「切」にして、「中和器への呼び水」を行ってください。 30・31ページ
290	ドレン水が排水できない	ドレンホースが凍結やゴミなどでふさがれていないことを確認してください。 (凍結している場合は、自然解凍を待ってください。)
301	外気温を検知できない (警告表示)	機器の使用はできますが、凍結予防装置が作動しません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。凍結のおそれがあるときは「じゃ口から水を流す方法」を行ってください。 25ページ
312 642	自動でお湯はり、たし湯やたし水ができない または追いだきができない (警告表示)	シャワーやじゃ口でお湯の使用はできますが、ふろ自動・追いだき・たし湯・たし水・ふろ配管の凍結予防ができません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
411	給水を検知できない (警告表示)	追いだきは使用できますが シャワーやじゃ口でお湯を使用することはできません。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。

エラーコード	説 明	確 認・処 置
480	油切れ予告装置の異常を検知した (警告表示) (別売のOC-5を取付時)	油切れ予告装置の故障や断線が考えられます。 機器の使用はできませんが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。 別売の「油切れ予告装置(OC-5)」を取り付けていないのに、エラーコード「480」が表示されたときは設定を解除してください。 54・55ページ
550 611 612	部品の異常を検知した	リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にしてください。(リセット)
651	水比例弁異常 (警告表示)	機器に給水した後に給水栓を開け、水が出ることを確認してから電源プラグを5秒間以上抜いた後、差し直してください。
661	混合弁異常	
740 750 760	通信異常	電源プラグを5秒間以上抜いた後、差し直してください。 (リセットは必要ありません。)
830	灯油の残量が少ない (警告表示) (別売のOC-5またはOC-31) を取付時	油タンクに給油してください。 20ページ
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	10年相当ご使用されたため、「点検時期をお知らせする機能」が働いてお知らせをしています。(故障ではありません。) 機器の使用はできませんが、安全のためお早めに点検(有料)を受けてください。 連 絡 先：株式会社長府製作所 ☎ 電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9：00～17：00 ※年末年始を除く
920	中和器寿命 (警告表示)	しばらくの間、機器の使用はできませんが中和器の交換が必要です。 56ページ お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。

※1 強制給排気タイプで床置型の場合

※2 強制給排気タイプで壁掛型の場合

2ページ

■警告表示

エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

「012」「032」「562」「252」「312」「412」「632」「642」の警告表示では給湯動作は使用できますが、ふろ関連の動作は使用できません。「411」の警告表示では追いだきのみ使用できます。

運転中に誤作動したときは

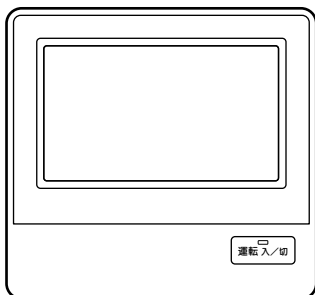
- 万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったりしたときは電源プラグをコンセントから5秒間以上抜いた後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

故障かな？と思ったら

油切れ予告装置異常「480」が表示されたときの解除方法

タッチパネルリモコンの場合

台所リモコン



「かんたん画面」の場合は、を押して「標準画面」にしてください。
表示画面にを表示していない場合は、を押して表示させてください。

1 を押す

2 を押して「時刻・その他設定」を押す

3 を押して「油面計設定」を押す

4 を押して「OFF」にする

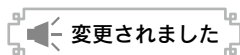
設定内容

OFF←0←2←4～116←118←120 (cm)

1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



5 を押す



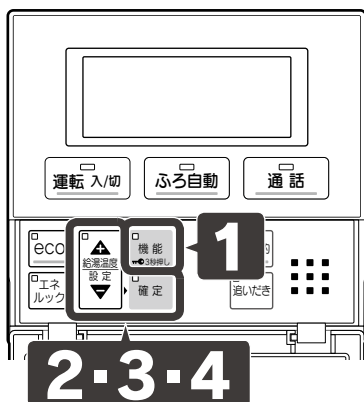
 (ホームスイッチ)を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

● 設定を途中でやめる場合はホームスイッチを押してください。通常の表示に戻ります。

インターホンリモコンの場合

台所リモコン



1 **機能** を押す

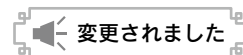
2 **+** または **▼** を押して「時刻・その他設定」を選び **確定** を押す

3 **+** または **▼** を押して「油面計設定」を選び **確定** を押す

4 **▼** を押して「OFF」を選び **確定** を押す

設定内容

OFF←0cm←2cm←4cm～116cm←118cm←120cm
1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。

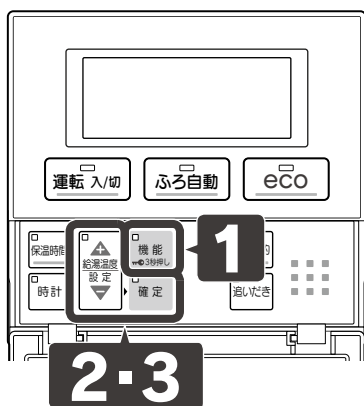


お知らせ

- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。通常表示に戻ります。

音声リモコンの場合

台所リモコン



1 **機能** を押す

2 **+** または **▼** を押して機能設定番号「21」を選び **確定** を押す

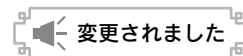
3 **▼** を押して「OFF」を選び **確定** を押す

設定内容

oFF←0←2←4～116←118←120 (cm)
1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



設定内容 機能設定番号



お知らせ

- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。通常表示に戻ります。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

強制給排気タイプの場合 **2ページ**

- 給排気筒のOリングは、「FKM-70(フッ素) (JIS B2401-1) P70」を使用しています。

中和器について

- 中和器の寿命が近づくとエラーコード「920」を表示し、中和器の交換時期をお知らせします。
- 中和器の寿命が過ぎるとエラーコード「930」を表示し、運転を停止します。
この場合は中和器を交換しないと運転できません。お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
同時に機器の点検をおすすめします。

仕 様

型名		EHK-4771DXE	
型式の呼び		EHK-477	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用	
		屋内用半密閉式強制排気形	
点火方式		高圧放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
燃料消費量		48.9kW(4.75L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW(12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	95.0%	
連続給湯出力		46.5kW(40,000kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	1.5L(主熱交：0.8L 補助熱交：0.7L)	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力(最高使用圧力)		1.0MPa(10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.61m ² (主熱交：0.23m ² 補助熱交：0.38m ²)	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ790mm 幅300mm 奥行591mm	
質量(満水時)		41kg(44kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 68/ 68W 燃焼時： 90/ 90W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：130/130W 燃焼時：155/150W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合：2.0W	
電源コードの長さ		2.4m	
排気筒の呼び径		100	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		47dB(室内・正面)	
循環管取付口径		R1/2(15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L(最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃・133℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・ゴム製送油管・送油管接続パイプ タッピンねじ(リモコン取付用)・ビニルホース(金具付)・循環接続口フタ 排水用ホッパー・転倒防止金具 取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋・排気筒一式(別梱包)	
区分名(省エネ法)		Ⅲ	
構造名(省エネ法)		Ⅲ-1	
エネルギー消費効率(モード)		92.0%	

ご使用の前に

必要ときに

給湯使用時

給湯温度	給湯量		
	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分

給湯・追いだし同時使用時

給湯温度	給湯量		
	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
40℃	13L/分	18L/分	30L/分
50℃	10L/分	13L/分	18L/分
60℃	8L/分	10L/分	13L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
 ※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

仕 様

型名		EHK-4771DXF・EHK-4771DAF	
型式の呼び		EHK-477	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用	
		屋内用密閉式強制給排気形	
点火方式		高压放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油 (JIS1号灯油)	
燃料消費量		48.9kW (4.75L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW (12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	95.0%	
連続給湯出力		46.5kW (40,000kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	1.5L (主熱交：0.8L 補助熱交：0.7L)	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力 (最高使用圧力)		1.0MPa (10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.61m ² (主熱交：0.23m ² 補助熱交：0.38m ²)	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ790mm 幅300mm 奥行591mm	
質量 (満水時)		41kg (44kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 65/ 65W 燃焼時：110/105W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：135/130W 燃焼時：170/165W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合：2.0W	
電源コードの長さ		2.4m	
給排気筒の型式の呼び		FF-70-092	
給排気筒の呼び径		D70	
給排気筒の壁貫通部の孔径		120mm	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		43dB (室内・正面)	
循環管取付口径		R1/2 (15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L (最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃・133℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・圧力スイッチ・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置 (別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・ゴム製送油管・送油管接続パイプ・タップねじ (リモコン取付用) ビニルホース (金具付)・循環接続口フタ・抜け防止金具 ビニルパック・ビニルホース (ゴムキャップ付)・排水用ホッパー・転倒防止金具 取扱説明書 (保証書付)・工事説明書・所有者票袋・給排気筒一式 (別梱包)	
区分名 (省エネ法)		Ⅲ	
構造名 (省エネ法)		Ⅲ-1	
エネルギー消費効率 (モード)		92.0%	

給湯使用時

給湯温度	給湯量		
	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分

給湯・追いだし同時使用時

給湯温度	給湯量		
	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	13L/分	18L/分	30L/分
50℃	10L/分	13L/分	18L/分
60℃	8L/分	10L/分	13L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

型名		EHK-4771DSA	
型式の呼び		EHK-477	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用	
		屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形	
点火方式		高压放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油 (JIS1号灯油)	
燃料消費量		48.9kW (4.75L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW (12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	95.0%	
連続給湯出力		46.5kW (40,000kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	1.5L (主熱交：0.8L 補助熱交：0.7L)	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力 (最高使用圧力)		1.0MPa (10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.61m ² (主熱交：0.23m ² 補助熱交：0.38m ²)	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ790mm 幅300mm 奥行591mm	
質量 (満水時)		40kg (43kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 68/ 68W 燃焼時： 90/ 90W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：130/130W 燃焼時：155/150W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合：2.0W	
電源コードの長さ		2.4m	
排気筒の呼び径		100	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		45dB	
循環管取付口径		R1/2 (15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L (最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置 (別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・パッキン・送油管 ビニルホース (金具付)・循環接続口フタ・転倒防止金具 取扱説明書 (保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
区分名 (省エネ法)		Ⅲ	
構造名 (省エネ法)		Ⅲ-1	
エネルギー消費効率 (モード)		92.0%	

給湯使用時

給湯温度	給湯量		
	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分

給湯・追いだし同時使用時

給湯温度	給湯量		
	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	13L/分	18L/分	30L/分
50℃	10L/分	13L/分	18L/分
60℃	8L/分	10L/分	13L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

仕 様

型名		EHK-4771DKXF・EHK-4771DKAF	
型式の呼び		EHK-477	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用	
		屋内用密閉式強制給排気形	
点火方式		高圧放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
燃料消費量		48.9kW(4.75L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW(12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	95.0%	
連続給湯出力		46.5kW(40,000kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	1.1L(主熱交：0.8L 補助熱交：0.3L)	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力(最高使用圧力)		1.0MPa(10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.50m ² (主熱交：0.23m ² 補助熱交：0.27m ²)	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ655mm 幅470mm 奥行278mm	
質量(満水時)		35kg(38kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 70/ 65W 燃焼時：110/105W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：140/135W 燃焼時：170/165W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合：2.0W	
電源コードの長さ		2.0m	
給排気筒の型式の呼び		FF-70-062またはFF-70-082またはFF-70-062LまたはFF-70-082R	
給排気筒の呼び径		D70	
給排気筒の壁貫通部の孔径		120mm	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		46dB(室内・正面)	
循環管取付口径		R1/2(15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L(最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・中和器つまり検知装置・ドレン水トラップ異常検知装置・油切れ予告装置(別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・ビニルホース(金具付)・ゴム製送油管 リモコンコード・タッピンねじ(リモコン取付用) 排水用ホッパー・ドレン水ホース・ビニルホース(中和器呼び水用)・木ねじ 取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋・給排気筒一式(別梱包)	
区分名(省エネ法)		Ⅲ	
構造名(省エネ法)		Ⅲ-1	
エネルギー消費効率(モード)		92.0%	

給湯使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分

給湯・追いだき同時使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
40℃	13L/分	18L/分	30L/分
50℃	10L/分	13L/分	18L/分
60℃	8L/分	10L/分	13L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

型名		EHKF-4771DSX・EHKF-4771DA	
型式の呼び		EHKF-477	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用	
		屋外用開放形	
点火方式		高压放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油 (JIS1号灯油)	
燃料消費量		48.9kW (4.75L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW (12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	95.0%	
連続給湯出力		46.5kW (40,000kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	1.5L (主熱交：0.8L 補助熱交：0.7L)	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力 (最高使用圧力)		1.0MPa (10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.61m ² (主熱交：0.23m ² 補助熱交：0.38m ²)	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ721mm 幅595mm 奥行248mm	
質量 (満水時)		38kg (41kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 68/ 68W 燃焼時： 90/ 90W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：130/130W 燃焼時：155/150W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合：2.0W	
電源コードの長さ		2.6m	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		45dB	
循環管取付口径		R1/2 (15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L (最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置 (別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・送油管・転倒防止金具・取扱説明書 (保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
区分名 (省エネ法)		Ⅲ	
構造名 (省エネ法)		Ⅲ-1	
エネルギー消費効率 (モード)		92.0%	

給湯使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分

給湯・追いだし同時使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	13L/分	18L/分	30L/分
50℃	10L/分	13L/分	18L/分
60℃	8L/分	10L/分	13L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
 ※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

仕 様

型名		EHKF-3971DA	
型式の呼び		EHKF-397	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用	
		屋外用開放形	
点火方式		高压放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油 (JIS1号灯油)	
燃料消費量		41.1kW(3.99L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW(12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	95.0%	
連続給湯出力		39.0kW(33,500kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	1.5L(主熱交：0.8L 補助熱交：0.7L)	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力(最高使用圧力)		1.0MPa(10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.61m ² (主熱交：0.23m ² 補助熱交：0.38m ²)	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ721mm 幅595mm 奥行248mm	
質量(満水時)		38kg(41kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 68/ 68W 燃焼時： 75/ 70W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：130/130W 燃焼時：150/145W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合：2.0W	
電源コードの長さ		2.6m	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		44dB	
循環管取付口径		R1/2 (15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L(最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・送油管・転倒防止金具・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
区分名(省エネ法)		Ⅲ	
構造名(省エネ法)		Ⅲ-1	
エネルギー消費効率(モード)		92.0%	

給湯使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	16L/分	22L/分	32L/分
50℃	12L/分	16L/分	22L/分
60℃	10L/分	12L/分	16L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

給湯・追いだし同時使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	10L/分	14L/分	23L/分
50℃	8L/分	10L/分	14L/分
60℃	6L/分	8L/分	10L/分

型名		EHKF-4771DKX	
型式の呼び		EHKF-477	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用	
		屋外用開放形	
点火方式		高圧放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油 (JIS1号灯油)	
燃料消費量		48.9kW (4.75L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW (12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	95.0%	
連続給湯出力		46.5kW (40,000kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	1.1L (主熱交：0.8L 補助熱交：0.3L)	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力 (最高使用圧力)		1.0MPa (10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.50m ² (主熱交：0.23m ² 補助熱交：0.27m ²)	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ655mm 幅520mm 奥行250mm	
質量 (満水時)		36kg (39kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 68/ 68W 燃焼時：105/100W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：130/130W 燃焼時：170/165W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合 ：2.0W	
電源コードの長さ		2.1m	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		48dB	
循環管取付口径		R1/2 (15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L (最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置 (別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・送油管・木ねじ・取扱説明書 (保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
区分名 (省エネ法)		Ⅲ	
構造名 (省エネ法)		Ⅲ -1	
エネルギー消費効率 (モード)		92.0%	

給湯使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分

給湯・追いだし同時使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	13L/分	18L/分	30L/分
50℃	10L/分	13L/分	18L/分
60℃	8L/分	10L/分	13L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないように充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据え付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

- 工事説明書の「試運転」を参照して行ってください。

長府強制追焚付石油給湯器(直圧式)保証書(販売店様控)

型 名	EHK-4771DXE EHKF-4771DSX EHK-4771DXF EHKF-4771DA EHK-4771DAF EHKF-4771DKX EHK-4771DSA EHKF-3971DA EHK-4771DKXF EHK-4771DKAF		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名
★お 客 様	お名前 様		電話 ()
	ご住所		
	電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府強制追焚付石油給湯器(直圧式)保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	EHK-4771DXE EHK-4771DXF EHK-4771DAF EHK-4771DSA EHK-4771DKXF EHK-4771DKAF	EHKF-4771DSX EHKF-4771DA EHKF-4771DKX EHKF-3971DA	
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用情况の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 地下水・井戸水・温泉水等を給水したことに起因する不具合
- (13) 公害による不具合
- (14) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (15) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 「故障かな？と思ったら」[45～55ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の
お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	強制追焚付石油給湯器(直圧式)
型名	機器前パネルの銘板に記載されています。 2・16～18ページ
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯・ふろ以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ



0120-925-339
携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を目的
として利用し、適切に管理します。
修理業務などを委託する場合や正当な
理由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:10～18:00
土日祝 8:10～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、送油バルブと給水元
栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検
・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1